

主要施策・事業調書

自己評価基準

- ◎ 順調
- 概ね順調
- △ やや順調でない
- × 順調でない
- 未実施

基本目標	基本方針	主要施策
1 未来を拓く子どもの育成	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成	1 学力及び体力の向上
	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進
	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供
2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興	1 生涯学習の推進	1 郷土を愛する心の育成
		2 国際感覚豊かな人材の育成
		1 S D G S sの理念を取り入れた学習の推進
		2 特別支援教育の充実
	2 文化・芸術の振興	1 社会教育事業の推進
		2 公民館事業の推進
		3 図書館・視聴覚センター事業の推進
		4 文化研修センター事業の推進
	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進	1 文化・芸術活動の推進
		2 文化財の保存と活用
		3 文化財調査の実施
		4 博物館事業の推進
3 豊かな学びを支える教育環境づくり	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進
		2 スポーツイベントの充実と開催
	2 子供と向き合う教育環境づくり	3 地域スポーツの推進
		4 スポーツ関係団体の育成
		5 プロスポーツを活用した地域振興
		6 スポーツを通じた交流の促進
	3 安全・安心な教育環境の構築	1 青少年健全育成事業の推進
		2 子供読書活動の推進
		1 相談体制の充実
		2 不登校への対応
		3 安全・安心な学校づくりの充実
		4 これからの学校経営の在り方の検討
		5 被災及び新型コロナウイルス感染に関する児童生徒への支援
		6 教職員等の資質の向上
		7 生徒指導の充実
		1 学校施設・設備の充実
		2 社会教育施設・設備の充実
		3 社会体育施設・設備の充実
		4 社会体育施設管理の充実

令和5年度点検評価施策・事業一覧

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
1-1-1	1	学校の教育力向上推進事業	○	○
	2	学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）	○	○
	3	体力づくり推進事業	○	○
1-1-2	4	道徳教育の推進	○	○
	5	人権・同和教育推進事業	○	○
1-1-3	6	学校給食の充実及び地産地消推進事業	○	○
	7	食育推進事業	○	○
	8	衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備	○	○
	9	モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業	○	○
1-2-1	10	郷土を愛する心の育成推進事業	○	○
	11	キャリア教育推進事業	○	○
1-2-2	12	A L T活用指導充実事業	○	○
	13	英語コミュニケーション能力育成事業	○	○
	14	大洲市中学生海外派遣事業	○	○
1-3-1	15	主体的、対話的で深い学びの推進	○	○
1-3-2	16	こども発達支援室と他部署との連携強化	○	○
	17	発達障がい児家族等支援事業	○	○
2-1-1	18	自治組織と公民館の在り方の検討	○	○
	19	成人式の開催	○	○
	20	社会教育関係団体活動支援事業	○	○
	21	公民館及び分館活動支援事業	○	○
	22	人権・同和教育推進事業	○	○
2-1-2	23	大洲市民大学	○	○
	24	科学体験フェスティバルin大洲	○	○
	25	学級講座事業	○	○
2-1-3	26	図書館資料収集整理事業	○	○
	27	読書活動推進事業	○	○
	28	視聴覚教育推進事業	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
2-1-4	29	パソコン教室事業	◎	◎
2-2-1	30	親と子のコンサート事業	○	○
	31	文化・芸術団体活動支援事業	○	○
2-2-2	32	文化財保存活用及び顕彰事業	○	○
	33	民俗芸能保存団体活動支援事業	○	○
2-2-3	34	指定文化財見直し事業	○	○
	35	市内遺跡確認調査事業	○	○
	36	市内絵馬調査事業	○	○
2-2-4	37	資料収集整理事業	○	○
	38	展示活動事業	○	○
	39	教育活動事業	○	○
	40	博物館等施設再編の検討	△	△
2-3-1	41	大洲市スポーツ推進計画の施策の推進	○	○
	42	健康寿命延伸事業の推進	△	△
	43	D X を活用した事業の推進	○	○
2-3-2	44	大洲市カヌーツーリング駅伝大会	○	○
	45	大洲市駅伝大会	○	○
	46	大洲市健康マラソン大会	—	—
2-3-3	47	各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業	○	○
	48	スポーツ推進委員育成事業	○	○
	49	体育施設活用事業	○	○
	50	学校部活動の地域連携・地域移行の検討	○	○
2-3-4	51	スポーツ協会活動事業	○	○
	52	スポーツ少年団等活動事業	○	○
2-3-5	53	愛媛FC・愛媛マンドリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業	○	○
2-3-6	54	ええモンリレーマラソン大会事業	○	○
	55	オンラインスポーツ事業	△	△
3-1-1	56	学校・家庭・地域連携推進事業	○	○
	57	放課後児童健全育成事業	○	○
	58	市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
3-1-1	59	「家族の出番です」通信講座事業	○	○
	60	青少年センター運営事業	○	○
3-1-2	61	第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施	○	○
3-2-1	62	スクールソーシャルワーカー活用事業	○	○
	63	ハートなんでも相談員設置事業	○	○
	64	スクールカウンセラー活用事業	○	○
	65	教職員メンタルヘルス・個別相談事業	○	○
3-2-2	66	おおずふれあいスクール運営事業	○	○
3-2-3	67	防災・安全教育推進事業	○	○
3-2-4	68	学校運営協議会制度の推進	◎	◎
	69	学校における働き方改革の推進	○	○
3-2-5	70	心のケア事業	○	○
3-2-6	71	大洲市教育研究所運営事業	○	○
3-2-7	72	いじめ・不登校等対策協議会推進事業	○	○
3-3-1	73	学校施設長寿命化改修事業	○	○
	74	閉校施設除却事業	○	○
	75	児童生徒用木製机椅子整備事業	◎	○
3-3-2	76	公民館改築事業	◎	◎
	77	社会教育施設維持修繕等事業	◎	◎
3-3-3	78	社会体育施設の充実と活用	○	○
	79	カヌー艇庫整備事業	○	○
3-3-4	80	大洲市総合体育館等の指定管理体制の構築	△	△
	81	体育施設LED照明設備導入事業	○	○

順調 ◎	5	4
概ね順調 ○	71	72
やや順調でない △	4	4
順調でない ×	0	0
未実施 ー	1	1
計	81	81

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	1 学校の教育力向上推進事業				
目 的	全国学力・学習状況調査等の調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果をもとに、各小中学校の実態を把握し、各小中学校の実態に応じた学力及び体力の向上を図る。				
事業実施状況	全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査をもとに、全国や県との比較をしたり、各小中学校の実態の把握に努めたりした。 学力に関しては、購入した教材等による学習内容の定着を図るよう各校の学力向上推進主任と共通理解を図るとともに情報交換に努めた。また、小中学校各1校において学力向上推進主任会を開催。授業を参観し、学力向上のために校内で取り組んでいることを共有するとともに、全国学力・学習状況調査や県の学力診断調査等の結果分析や経年比較を基に、学力向上のためのアドバイスを行った。また、これらの各小中学校の情報を共有するとともに、それぞれの改善点について協議を行った。 また、令和5年度から、小学校にWEB学習教材スマイルネクストドリルを導入し、教育課程に沿った個別の学習支援に向けた利用を進めた。 ・WEB学習教材購入等				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	5,053	4,969	4,908	3,282
	決算額	4,825	4,827	4,817	3,236
	繰越額	0	0	0	
	執行率	95.5%	97.1%	98.1%	98.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	4,825	4,827	4,817	3,236
事業の成果	国や県の各種調査の分析をもとに、学力の向上のための共通理解や情報交換を行うことができた。また、市独自に導入したWEB学習支援アプリ等や県CBTシステム「EILS」の活用も定着しつつあり、学校・児童の実態に応じた教材等の活用、授業研究など、学力向上に向けて積極的に取り組むことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和5年度から、小学校では個別の学習支援と充実に向けたWEB学習教材の導入を行ったが、中学校への個別指導用のWEB学習教材の導入を今後行っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	2 学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）				
目 的	一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の実現を目指し、ＩＣＴを効果的に活用した授業のあり方を検討するなど、「新しい学び」を推進して学力の向上に取り組む。 GIGAスクール構想の推進のため、ＩＣＴ環境の効果的な活用等について研究を行う。				
事 業 実 施 状 況	大洲市立小学校及び中学校の情報教育を推進するために必要な調査、研修等を行うために教職員で組織された大洲市学校情報教育推進協議会を活用し、学校の情報教育の推進に関する基本的な事項とＩＣＴ環境の整備及び利活用促進に関する検討を行った。 ○第22回協議会（5/23） R5活動計画 ○ロイロノートスクール活用研修（各自） ○スマイルドリル新機能説明研修（オンライン） ○リーダー研修会（5/15） タブレット・校務端末に関する研修会 ○活用実技研修（8月） ロイロノート基礎研修（8/2 25人） EILS研修（8/9 34人） ロイロノート活用研修①（8/16 25人） ロイロノート活用研修②（8/23 36人） ○教育のデジタル化推進校打ち合わせ会（9/19、2/26） ○第23回協議会（10/6） 前期の活動確認と後期の予定確認 ○校務支援システム更新に関わる情報共有（1月） ○第24回協議会（3/8） 今年度の取組及び次年度計画について				

2 学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）

事業年度		R2	R3	R4	R5
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果		学習用タブレットにインストールされているソフトウェアの活用力を高めるとともに、タブレット活用の意欲化が図ることができた。また、県独自のＩＣＴ支援システムやＣＢＴテストの活用も進み、各校の利用や活用も定着してきた。			
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○
課題・問題点		各教科におけるＩＣＴ活用スキルの目標設定をする必要がある。 令和６年度で、校務支援システム等の更新時期を迎えるため、専門委員会などにおいてセキュリティポリシー等の更新を進める必要がある。			

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		教育総務課		係 名	学校教育係		年度	R5
基 本 目 標		1 未来を拓く子どもの育成						
基 本 方 針		1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成						
主 要 施 策		1 学力及び体力の向上						
事 業 名		3 体力づくり推進事業						
目 的		各小中学校の実態等に応じた取組を推進する。県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用し、基礎体力と運動能力の向上を図る。						
事業実施状況		県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用するように、各学校に呼び掛けた。 ・チャレンジ部門 4 種目 スローアンドキャッチラリー、チームジャンプ連続 8 の字ジャンプ、チームリレー ・ポイント獲得部門 エブリイデイスポーツ みんなで逆上がり、みんなで縄跳び、みんなでジャンプ みんなでキック、みんなでランニング、みんなでダンス みんなでリズム水泳、みんなでアスレチック えがおダンス、えがお体操 ・創作部門 2 種目 レッツリズムダンス、体力アップエクササイズ チャレンジ部門において、大洲小学校 3 年 1 組が「長なわ跳び」で 1 位、三善小学校 3 年 1 組が「チームリレー」で 2 位、肱川小学校 3 年生が「スローアンドキャッチラリー」で 2 位、喜多小学校 6 年梅組が「8 の字ジャンプ」で 2 位になり表彰を受けたほか、各部門において、入賞校が多数あり、各校のがんばりが見られた。 全小中学校において「体力アップ推進計画」を立案して具体的施策に取り組み、年度末には成果と課題を明確にして次年度につなげた。						
事業年度		R2		R3		R4		R5
事業費	予 算 額	0		0		0		0
	決 算 額							
	繰 越 額							
	執 行 率							
事業区分		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業
財 源	国 庫 補 助 金							
	県 補 助 金							
	地 方 債							
	そ の 他 特 財							
	一 般 財 源	0		0		0		0
事業の成果		I T スタジアムに市内全小学校が参加している。 チャレンジ部門において、上位に入賞したり、10位以内に入賞する学校が多くあったりするなど、各校のがんばりが見られた。研修会を通して、体育授業の改善や運動・スポーツ活動の効果的指導方法を身に付けることができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		さらに、運動の習慣化や運動することへの意欲を高め、日常的な体力向上に取り組む具体的な工夫が必要である。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	4 道徳教育の推進				
目 的	教科化された道徳科について、新学習指導要領に基づいた指導計画の作成を行うとともに、授業改善や評価方法の研修を進める。				
事業実施状況	各校において、新学習指導要領に基づいて作成した指導計画を見直したり、授業改善、評価方法の研修を行ったりするよう呼び掛けた。 愛媛県総合教育センター「愛媛学びの森学習支援サイト」に掲載された「愛媛県特色ある道徳教育推進事業研究推進校の研究概要」を、道徳教育の推進に向け、活用するように呼び掛けた。 また、各校において道徳教育に関する研修を行うとともに、各校の道徳教育推進教師や教務主任が中心となって、評価方法について情報交換を行った。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	大洲市教育研究所道徳班会(兼：心の教育専門委員会)等において研修・情報交換を行ったり、各校において道徳教育の研修を行ったりして、道徳教育を推進することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	「特別の教科 道徳」として充実させるため、年間指導計画や指導・評価方法等を自校の実情に沿ったものとなるよう、検証をしていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	5 人権・同和教育推進事業				
目 的	各小中学校における人権・同和教育の指導計画を見直し、学校の状況に応じた適切な指導を進める。また、教職員の研修が深まるよう支援を行う。				
事 業 実 施 状 況	人権・同和教育の全体計画と年間指導計画について、各校での見直しや点検、教育委員会事務局での確認を行い、事業の充実を図った。 ポイントは次の2点である。全体計画は、学校における人権・同和教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、人権・同和教育の目標を達成するための方策を総合的に示したものであること。年間指導計画は、全体計画に基づき、児童生徒の発達段階に即して各年度に行う人権・同和教育の指導内容・方法等を具体化した全学年にわたる指導計画であること。 令和5年度は、愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市会場)には22人が参加して、校内研修に役立てた。また、南予地区人権・同和教育研究協議会(愛南町会場)においては、24人が参加した。今年度は、平野小学校の取組について実践報告をしていただき、各分科会で熱心な協議を行うことができた。また、人権・同和教育主任班会において各校の取組等について研修を行った。 令和5年度は、喜多小学校において文部科学省人権教育研究指定校事業研究発表会が実施され、市内各小中学校からも多くの参加者があり、市全体としての研修を深める機会となった。 また、いじめ等の防止や性的マイノリティ等について、県教委からの通知資料を基に各校に情報を提供し、積極的に自校の課題に取り組むよう働き掛けた。				
事 業 年 度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額				
	繰 越 額				
	執 行 率				
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国 庫 補 助 金				
	県 補 助 金				
	地 方 債				
	そ の 他 特 財				
	一 般 財 源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	各学校の人権・同和教育主任が、開催された研究会に参加して、校内の人権・同和教育の全体計画と年間指導計画に活用することができた。 いじめ等の防止や、性的マイノリティ等の差別の防止に向けて取り組むことができた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	人権・同和教育の全体計画と年間指導計画は、年度末の課題をもとに、見直し改善する必要がある。小中学校の校則検討委員会でも性的マイノリティ等への多様な対応が協議されているため、差別等への対策に向けて更に取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	6 学校給食の充実及び地産地消推進事業				
目 的	栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食を提供するとともに、大洲産の生鮮野菜、果物類の使用率のさらなる向上と調達の安定化を図る。				
事 業 実 施 状 況	献立や食材に児童生徒の意見を取り入れながら、栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食の提供に努めた。 また、大洲産の生鮮野菜・果物類使用率の更なる向上と調達の安全を図るため、「愛たい菜」や地元納入業者との連携を密にして、供給ルート確保、端境期対策に努めた。 1 給食実施状況 ◎大洲市学校給食センター（対象校 25校） ・給食実施日数 198日 ・実施食数 613,671食 2 リクエスト献立 20校【小12校・中8校】 3 アレルギー対応 ・アレルギーのある児童・生徒等の把握 191人 ・アレルギー献立表の送付 57人 ・アレルギー対応食の提供 44人 4 大洲産使用率（重量ベース） ・生鮮野菜 61.5% ・お米（大洲産にこまる）100% 5 「愛たい菜」との連携 愛たい菜に毎月献立表を送付して地元野菜の使用可能量を把握し、発注時に調整を行った。 6 旬の地元産食材活用のための献立検討 地産多消推進協議会の助成金を活用した献立の実施				
事 業 年 度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額				
	繰 越 額				
	執 行 率				
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	リクエスト献立や大洲の食材を使ったメニューなど、趣向を凝らした完全給食事業が実施できた。 生鮮野菜のほか、地元産の冷凍野菜や季節に応じた果物を使用し、地産地消率は61.5%となった。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	悪天候による不作や端境期に影響されない作物の利用、開発の依頼が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	7 食育推進事業				
目 的	食育指導や施設の見学をとおして、子どもたちが生きる力となる食に関する正しい知識を身につけ、保護者や市民に食育の大切さについて啓発を図る。				
事業実施状況	子どもたちが、生きる力となる食に関する正しい知識を身に付けるため、学校で食育指導を行い、保護者や市民を対象とした食育講演、食育ポスターコンクールの開催により、食に関する意識の啓発を図った。 1 給食センター施設見学対応 (1) 施設数・・・10校 (2) 見学者数・・・348人 2 講演、指導 (1) 開催回数・・・・・・16回 (2) 対象者数・・・・・・298人 (3) 内 容 小児生活習慣病予防教室、就学時健康診断での講話、栄養教室、栄養相談（9回） 3 食育コンクール (1) 参加数・・・ポスター409件、標語1,602件 (2) 応募数・・・ポスター335件、標語 398件				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	363	382	599	647
	決 算 額	317	356	522	581
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	87.3%	93.2%	87.1%	89.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	317	356	522	581
事業の成果	給食センターの調理状況の視察、食に関する講演を実施することで、児童生徒や保護者に食の大切さを伝え、給食を作る人への感謝の心を育むことが出来た。 また、食育コンクールでは、食に関するポスターや標語を募集し、市役所ロビー・愛たい菜での作品展示や広報紙・公式ホームページに掲載を行うことで、子供だけでなく広く一般に地産地消や食の大切さについて啓発をすることが出来た。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	8 衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備				
目 的	調理従事者等の衛生管理に関する資質向上と意識啓発を図り、細菌検査、ノロウイルス検査による衛生管理の徹底を図る。 薬剤師の協力を得て施設を点検し、食中毒の発生防止を図る。				
事業実施状況	1 調理従事者等の衛生研修と細菌検査等の実施 調理従事者等の衛生管理研修を毎月行い、個々の資質向上と意識の啓発を図り、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 (1) ノロウイルス検査・・・10月～3月（6回） (2) 腸内細菌検査・・・毎月2回 (3) 調理従事者衛生研修・・・毎月1回 2 施設の点検整備 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、施設の点検整備と徹底的な衛生管理に努めた。 第1学期 6月7日 第2学期 11月16日 第3学期 2月6日				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	335	181	182	190
	決算額	281	137	143	157
	繰越額	0		0	0
	執行率	83.9%	75.7%	78.6%	82.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	281	137	143	157
事業の成果	調理従事者等を対象とした衛生研修会を開催し、衛生管理の意識向上を図るとともに、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、学期ごとに施設の点検を行い、衛生管理の充実を図った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	食中毒を防止し、安全・安心な給食を提供するため、学校給食における衛生管理の徹底を図るため、P F I事業者と連携して取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	9 モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業				
目 的	事業者が行う維持管理・運営業務に対し、定期的にモニタリングを実施し、業務の履行確認を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との情報交換などさらなる連携を図る。				
事業実施状況	事業者が行う維持管理・運営業務に対して日々の状況を確認しながら、関係者からのヒアリング、定期的なモニタリングを実施し、適切な業務執行の監視を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との綿密な情報交換などさらなる連携を図った。 (1)事業者から月次及び4半期ごとの業務報告書の提出 (2)事業者のセルフモニタリング（年4回実施） (3)モニタリング及び運営委員会の実施 第1四半期（R5.7.13） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（箸カゴの返却について） 第2四半期（R5.10.13） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（米缶の返し方について） 第3四半期（R6.1.11） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（特になし） 第4四半期（R6.4.15） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（高等学校への給食提供について）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	年4回のモニタリングにより、施設・設備の維持管理と運営業務の適切な履行確認ができています。また、規定された時間内に配送できるよう、学校施設の改修予定や通行止めなどの情報を提供し、適切な対応ができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	10 郷土を愛する心の育成推進事業				
目 的	地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土愛を育むとともに、中学生版歴史副読本等を活用して郷土の先哲の足跡を学び郷土の文化や自然を継承していく心を培う。				
事業実施状況	1 中学生版歴史副読本の活用 令和2年度に改訂版を発行した「中学生版歴史副読本」を中学1年生全員に配布し、郷土の自然・歴史・風土・人物又は地域の伝統行事や風習に関する知識を深めた。 2 大洲のくらしの活用 小学校3・4年社会科副教材「大洲のくらし」を活用して、郷土の歴史や文化や自然を愛し、継承していく心を育んだ。 昭和39年に初版発行して以来、約5年ごとに見直しを行い、時代に則した内容に改訂している。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	2,102	1,485	0	0
	決算額	1,900	792		
	繰越額	0	0		
	執行率	90.4%	53.3%		
事業区分	市単独事業	市単独事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	1,900	792	0	0
事業の成果	中学生版歴史副読本及び大洲のくらしを社会科教材として使用するほか、総合的学習の時間等を活用し、地域の方を講師として講話を聞いたり、体験活動を行なったりすることにより、郷土の自然・歴史・風土・人物、及び伝統行事や風習に関する知識を深めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	次回の改訂では、QRコードによる動画再生など、タブレット学習を見据えた工夫をするなど、児童生徒の知的好奇心を刺激する内容にしたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	11 キャリア教育推進事業				
目 的	生徒が「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択できるなど、社会人、職業人として自立していくことができるように5日間の職場体験等を実施する。				
事業実施状況	生徒が「生きる力」を身に付け、将来直面するであろう様々な課題に対して、柔軟にたくましく対応し、主体的に自己の進路を選択できるなど、健全な勤労観や職業観、社会人・職業人として自立できる資質や能力の育成を目指すキャリア教育が強く求められており、職場体験学習を実施している。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため体験日数や活動に影響もなく、全中学校が職場体験学習に取り組み、充実した活動を行うことができた。 ○実施校 市内中学校8校 ○対 象 中学2年生 また、各学校において地域の実情や学校及び学級における創意工夫を生かした形で活用する「キャリア・パスポート」の積極的な活用を呼び掛けた。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	179	236	90	75
	決算額	43	15	35	28
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	24.0%	6.4%	38.9%	37.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	43	15	35	28
事業の成果	各中学校が主体となり、生徒が希望する事業所等において職場体験学習を行った。生徒自身が活動に向けて、事前・事後の学習を自主的に行うことができ、地域に根差した地元事業所の良さを体得することができた。また、多くの事業所の協力により、働くことの意義や今後の望ましい職業観や勤労観を身に付けることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	事業所には多大な協力をいただいているが、各中学校の活動期間が重なった場合は、令和6年度も、5日間同一事業所で活動することは難しい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	12 A L T活用指導充実事業				
目 的	中学校及び小学校5、6年生における外国語指導、小学校3、4年生における外国語活動の補助を行い、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、外国語教育の充実と新学習指導要領への円滑な移行を図る。				
事業実施状況	外国語教育の充実及び国際交流の発展を図るために、外国語指導助手（A L T）を大洲地域に5人、長浜地域に1人の計6人を配置し、それぞれの地域の小中学校で外国語教育に従事することとしている。 令和5年度において、在籍する6人のうち3人が任期を終えたが、その後新たに3人の配置を確保できたため、引き続き6人体制で実施ができた。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	29,213	28,966	32,557	30,286
	決算額	19,731	16,589	27,931	28,134
	繰越額	0	0	0	
	執行率	67.5%	57.3%	85.8%	92.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	19,731	16,589	27,931	28,134
事業の成果	小学校高学年における外国語教育の教科化及び中学年の外国語活動の開始に伴う教員の英語指導の向上を図ることができた。また、公民館での英会話教室を通じて、自国の文化や慣習の説明を行う等、地域住民の異文化理解にも貢献している。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	長期休業中におけるA L Tの活用について、検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	13 英語コミュニケーション能力育成事業				
目 的	A L T、英語教員との合宿生活や中学生国内留学等を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、英語に対する関心を高め、幅広く世界で活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する。				
事業実施状況	市内の中学校2・3年生を対象に参加者を募集し、夏季休業中に1泊2日の「英語キャンプ」を計画した。30人を応募したが、台風接近のため当日28人の参加となった。指導者は、大洲市A L T 3人、大洲市英語教員14人。大洲市教育委員会事務局職員2人も参加した。 8月9日…開会式、入所式、アイスブレイカーゲーム、グループアクティビティ、レッスン①②③ 8月10日…ときが森英語体験プログラム(室内向け)、レッスン④、閉会式				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	143	143	3,143	143
	決 算 額	0	51	3,028	93
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	35.7%	96.3%	65.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	2,000	0
	一般財源	0	51	1,028	93
事業の成果	今年度はオンラインで海外の方との英語での交流を行った。新しいプログラムを準備することができ大変有意義な研修の機会となった。また、台風接近のため屋外での研修はできなかったが、日中の活動は活発な英語活動での交流が実施できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	本来は、宿泊を通して生徒・教師相互のコミュニケーションを図りながら、英語活動に親しむことを目的としているが、I C T機器の活用やオンライン学習の充実を図ることができるため、運営に関わる教職員の業務改善の目的もあり、令和6年度は、宿泊を伴わない活動を実施する予定である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	14 大洲市中学生海外派遣事業				
目 的	これからの大洲市を担う中学生を海外に派遣し、異国の文化、歴史、経済、生活習慣及び国民性の違い等を肌で感受させ、その体験を通して国際的な感覚の涵養と視野を広めさせることにより、国際化時代にふさわしい人材を育成する。				
事業実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限の解除が見込めなかったことから、引き続き国内（東京都）において代替事業（国内English Camp）を実施し、中学生23人を派遣することができた。 ○実施場所 東京都「東京グローバルゲートウェイ」 ○実施期間 令和5年7月31日～8月3日（4日間）				
事業年度	R5				
事業費	予 算 額	3,400			
	決 算 額	2,786			
	繰 越 額	0			
	執 行 率	81.9%			
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	2,400			
	一般財源	386	0	0	0
事業の成果	昨年度に引き続き国内実施とはなったが、参加者からは、英語力が向上した、代替事業としては十分なものであり、コロナ感染拡大が落ち着いたら是非海外へ行ってみたいとの感想を受けた。 令和6年度には実際に海外への派遣とする形に調整を進めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	物価高騰や円安による価格高騰に伴い、以前の実施時に比べ保護者の負担は大きくなっているのが現状である。またコロナ禍前に比べホームステイ等の受入体制も変わってきたことから、実施の方法については今後も検討が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		教育総務課		係 名	学校教育係		年度	R5
基 本 目 標		1 未来を拓く子どもの育成						
基 本 方 針		3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進						
主 要 施 策		1 S D G sの理念を取り入れた学習の推進						
事 業 名		15 主体的、対話的で深い学びの推進						
目 的		主体的、対話的で深い学びを実現し、新しい時代に求められる資質・能力を育成する学習活動を推進していく。協働学習、地域の人や教職員との対話、I C Tの活用等の有効な方法を適切に実施しながら、子供たちの学力向上に努めていく。						
事業実施状況		5月26日に、学力向上推進主任・I C T教育主任を対象に、愛媛県教育センターから指導主事を講師に招いて、出前講座「授業によるI C T活用～C B Tシステム(E I L S)の活用～」を開催した。個々の学習支援や教材作成等に役立てるため、県C B Tシステム(E I L S)の利用や作問について研修を深めた。 11月1日(栗津小学校：算数科)と、1月24日に(肱東中学校：国語科)開催した学力向上推進主任研修会においては、学力向上専門委員会が作成した「おおずの授業スタンダード」に沿った授業、I C T機器を活用した対話的な学習についての授業研究を行った。また、各校にも「おおずの授業スタンダード」に沿った授業研究を行うよう呼び掛けた。						
事業年度		R2		R3		R4		R5
事業費	予 算 額	0		0		0		0
	決 算 額							
	繰 越 額							
	執 行 率							
事業区分		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業		ゼロ予算事業
財 源	国庫補助金							
	県補助金							
	地方債							
	その他特財							
	一般財源	0		0		0		0
事業の成果		主体的、対話的で深い学びについて、授業参観及び授業研究を通して学ぶことができ、I C T機器を活用した対話的な学習の推進も図ることができた。I C T機器やW E B学習支援ツールの利用により、教職員の授業研究や学習の準備における業務改善にもつながった。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		I C T機器を活用した対話的な学習について、今後も、研究を進めていかなければならない。W E B学習支援ツールやW E B学習教材の活用を啓発し、協働学習や体験学習の実践方法や、個別最適な学習支援の在り方についても、研究していかなければならない。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	2 特別支援教育の充実				
事 業 名	16 こども発達支援室と他部署との連携強化				
目 的	障がいのある子供に対する早期からの一貫した支援の充実を図ることを目的とし、地域の幼児児童生徒の実態把握や支援について保護者や学校等に助言するとともに、関係機関の連携を図る。				
事 業 実 施 状 況	○ 大洲市特別支援連携協議会 ○ 発達支援センター等連絡会 ○ 早期支援連携協議会（Web会議） ○ 南予地域発達障がい支援ネットワーク会議 ○ 大洲市障がい者自立支援協議会 ○ 保健センター連絡調整会議 ○ 3歳児健診カンファレンス ○ 幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校への巡回相談 ○ 発達障がい児家族等支援事業の準備 大洲市特別支援連携協議会を開催したり、様々な会に参加したりすることで、他機関との連携を図った。				
事 業 年 度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	6,548	7,379	7,312	7,896
	決 算 額	5,566	6,297	6,910	7,324
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	85.0%	85.3%	94.5%	92.8%
事 業 区 分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	5,566	6,297	6,910	7,324
事 業 の 成 果	こども家庭センターが設立されることになり、移行の準備を進めた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	こども家庭センターにおいて、各係が連携しながら、よりよい支援体制を整えていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	2 特別支援教育の充実				
事 業 名	17 発達障がい児家族等支援事業				
目 的	障がいのある子供が、地域で生活できるように、早期からの一貫した支援のさらなる充実を図る。そのため、子供を取り巻くすべての関係機関が連携し、支援できる体制を整える。				
事業実施状況	○ 大洲市特別支援連携協議会開催(1回) ○ 大洲市特別支援連携協議会こども支援部会開催(1回) <連携した機関> ○ 学校教育関係者 ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 ○ 行政機関 ・保健センター・社会福祉課・愛育ホーム ・子育て支援課・保育所・親の会・事業所等 大洲市特別支援連携協議会において、支援ファイル「きらめき」をより使いやすくするための見直しを行った。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	
事業の成果	令和6年4月1日の大洲市こども家庭センターの設立により、こども発達支援室の業務を移行することになった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和6年度に向けて、急速に移行を進めたために課題は山積している。徐々に体制を整えていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	18 自治組織と公民館の在り方の検討				
目 的	市町村合併後17年が経過し、様々な課題が生じていることから、各公民館長・分館長の意見などを基に地域の実情を調査し、今後の地区公民館の在り方、職員配置等について検討する。				
事業実施状況	令和3年度に、自治会連絡会議の代表及び公民館長会の代表者等で組織する大洲市地域自治組織再編検討会議を設置し、地域自治組織（自治会と地区公民館）の現状と課題を明らかにするとともに、大洲市地域自治組織再編基本方針を決定した。 令和4年度は、基本方針に基づき、組織の名称をはじめ、組織や職員体制、地域一括交付金など、より具体的な検討を進め、中間的な方向性を取りまとめた再編方針原案が、検討会議において了承された。 令和5年度は、地元説明会を開催し、組織体制等について地元役員と協議を重ね、自治会長、公民館長・分館長への説明を経て、11月に再編方針を最終決定した。これに伴い、令和6年4月1日に公民館・分館を廃止し、コミュニティセンターへ移行する。 ●地元説明会（組織体制等について役員との個別協議） 令和5年5月16日（火）～令和5年9月21日（木） ●自治会連絡会議、公民館・分館長への説明 令和5年10月26日（木） ●大洲市地域自治組織再編方針の決定 令和5年11月1日（水）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	令和4年度に検討会議で了承された再編方針原案をもとに、令和5年度は地元説明会で地元役員との協議を重ね、自治会長、公民館長・分館長への説明を経て、「地域自治組織再編方針」を最終決定した。 令和6年4月1日に公民館・分館を廃止し、コミュニティセンターへ移行する。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後もコミュニティセンターの所管課と連携して、地域が抱える課題の解消に取り組んでいく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	19 成人式の開催				
目 的	次代を担う新成人者を招待し、祝福及び激励をするため、成人式を開催する。				
事業実施状況	大洲市に在住しているか、または在住したことがある新成人者を招待し、令和5年度式典を下記のとおり実施した。 【令和5年度成人式】 1 日 時 令和6年1月7日（日）13:00～ 2 場 所 大洲市民会館 3 内 容 (1)式典（記念品・花束贈呈、祝辞、新成人代表のこぼ等） (2)記念撮影（地区別） 4 参加者 321人（対象者422人）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	2,076	2,883	2,176	2,111
	決 算 額	879	2,102	1,590	1,386
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	42.3%	72.9%	73.1%	65.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	879	2,102	1,590	1,386
事業の成果	新型コロナウイルス感染症によるイベントの開催制限が無くなったことから、令和5年度成人式は前年度のような保護者の入場制限を行わず、通常どおり開催した。 懸念された式典参加者からの新型コロナウイルス陽性の報告はなかった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	成人式の名称やアトラクションなどの式典の内容について、実行委員（成人者）も交えて検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	20 社会教育関係団体活動支援事業				
目 的	明るい地域づくりと家庭づくり、健全な青少年の育成と家族のつながり強化のために、社会教育関係団体（大洲市連合婦人会及び大洲市PTA連合会）に補助金を交付し、活動を支援する。				
事業実施状況	社会教育関係団体に補助金を交付し活動を支援した。 1 補助金交付額 (1)大洲市連合婦人会事業補助金 774,786円 (2)大洲市PTA連合会事業補助金 600,000円 2 補助金交付先の主な活動内容 (1)大洲市連合婦人会 ①南予地域婦人教育研修会 ②女性リーダー研修 ③大洲市連合婦人会会員交流会 ④機関紙「おおずの婦人」発行 ⑤福祉事業の推進 ⑥青少年の体験活動や交流活動 ⑦家庭教育子育て支援活動 ⑧地域学校協働活動 ⑨福祉施設訪問 (2)大洲市PTA連合会 ①広報誌「PTAおおず」発行 ②大洲市PTA連合会定期総会 ③大洲市PTA研究大会 ④女性リーダー研修会への参加 ⑤大洲市PTA連合会教育懇談会				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,462	1,462	1,462	1,462
	決 算 額	697	1,230	1,462	1,375
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	47.7%	84.1%	100.0%	94.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	697	1,230	1,462	1,375
事業の成果	【大洲市連合婦人会】 学校や地域等と連携して事業を実施し、住みよく明るい地域づくりに貢献することができた。 【大洲市PTA連合会】 広報誌の発行、研修会、懇談会等の実施により、児童・生徒の健全育成や会員の連帯感の向上を図ることができ、有意義なPTA活動となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	婦人会会員数の減少や高齢化、保護者の働き方や少子化など、時代の変化に応じた事業の見直しをさらに進める必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5																																																																																				
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興																																																																																								
基 本 方 針	1 生涯学習の推進																																																																																								
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進																																																																																								
事 業 名	21 公民館及び分館活動支援事業																																																																																								
目 的	社会教育の拠点施設である公民館及び公民館分館に対して補助金を交付し、その活動を支援する。また、令和4年度から「各地区青少年健全育成事業費補助金」を統合して交付している。																																																																																								
事業実施状況	○公民館活動補助金 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>公民館名</th><th>補助金額</th><th></th><th>公民館名</th><th>補助金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>肱 南</td><td>214,000円</td><td>14</td><td>長 浜</td><td>158,000円</td></tr> <tr><td>2</td><td>肱 北</td><td>835,000円</td><td>15</td><td>沖 浦</td><td>126,000円</td></tr> <tr><td>3</td><td>久 米</td><td>182,000円</td><td>16</td><td>今 坊</td><td>120,000円</td></tr> <tr><td>4</td><td>平</td><td>228,000円</td><td>17</td><td>櫛 生</td><td>124,000円</td></tr> <tr><td>5</td><td>平 野</td><td>171,000円</td><td>18</td><td>出 海</td><td>122,000円</td></tr> <tr><td>6</td><td>南久米</td><td>144,000円</td><td>19</td><td>大 和</td><td>137,000円</td></tr> <tr><td>7</td><td>菅 田</td><td>201,000円</td><td>20</td><td>豊 茂</td><td>120,000円</td></tr> <tr><td>8</td><td>大 川</td><td>136,000円</td><td>21</td><td>白 滝</td><td>155,000円</td></tr> <tr><td>9</td><td>柳 沢</td><td>129,000円</td><td>22</td><td>肱 川</td><td>201,000円</td></tr> <tr><td>10</td><td>新 谷</td><td>211,000円</td><td>23</td><td>河 辺</td><td>157,000円</td></tr> <tr><td>11</td><td>三 善</td><td>133,000円</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>八多喜</td><td>154,000円</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>上須戒</td><td>120,000円</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 合計 23館 4,278,000円 ※肱北は駐車場委託料を含む ○公民館分館活動補助金 14館 各70,000円 喜多山分館 22,500円 青島分館 25,466円 計1,027,966円 (正山・岩谷・予子林分館：不交付)						公民館名	補助金額		公民館名	補助金額	1	肱 南	214,000円	14	長 浜	158,000円	2	肱 北	835,000円	15	沖 浦	126,000円	3	久 米	182,000円	16	今 坊	120,000円	4	平	228,000円	17	櫛 生	124,000円	5	平 野	171,000円	18	出 海	122,000円	6	南久米	144,000円	19	大 和	137,000円	7	菅 田	201,000円	20	豊 茂	120,000円	8	大 川	136,000円	21	白 滝	155,000円	9	柳 沢	129,000円	22	肱 川	201,000円	10	新 谷	211,000円	23	河 辺	157,000円	11	三 善	133,000円				12	八多喜	154,000円				13	上須戒	120,000円			
	公民館名	補助金額		公民館名	補助金額																																																																																				
1	肱 南	214,000円	14	長 浜	158,000円																																																																																				
2	肱 北	835,000円	15	沖 浦	126,000円																																																																																				
3	久 米	182,000円	16	今 坊	120,000円																																																																																				
4	平	228,000円	17	櫛 生	124,000円																																																																																				
5	平 野	171,000円	18	出 海	122,000円																																																																																				
6	南久米	144,000円	19	大 和	137,000円																																																																																				
7	菅 田	201,000円	20	豊 茂	120,000円																																																																																				
8	大 川	136,000円	21	白 滝	155,000円																																																																																				
9	柳 沢	129,000円	22	肱 川	201,000円																																																																																				
10	新 谷	211,000円	23	河 辺	157,000円																																																																																				
11	三 善	133,000円																																																																																							
12	八多喜	154,000円																																																																																							
13	上須戒	120,000円																																																																																							
事業年度	R2	R3	R4	R5																																																																																					
事業費	予 算 額	4,544	4,514	5,578	5,578																																																																																				
	決 算 額	4,354	4,416	5,374	5,306																																																																																				
	繰 越 額	0	0	0	0																																																																																				
	執 行 率	95.8%	97.8%	96.3%	95.1%																																																																																				
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業																																																																																					
財 源	国庫補助金	0	0	0	0																																																																																				
	県補助金	0	0	0	0																																																																																				
	地方債	0	0	0	0																																																																																				
	その他特財	0	0	0	0																																																																																				
	一般財源	4,354	4,416	5,374	5,306																																																																																				
事業の成果	新型コロナウイルス感染症によるイベントの開催制限が無くなり、多くの事業を通常どおり実施できたことから、地域住民への学習機会の提供、健康づくり、仲間づくり、青少年の健全育成に寄与することができた。																																																																																								
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○																																																																																					
課題・問題点	コミュニティセンターへの移行後も、公民館で実施していた生涯学習事業を継続するため、教育委員会としても様々な情報や職員研修の機会などを提供する必要がある。																																																																																								

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	人権学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	22 人権・同和教育推進事業				
目 的	互いの人権が尊重され、生き生きと暮らせる社会の実現をめざし、公民館の学級講座事業と連動し、同和問題をはじめとする人権問題に関する学習機会を提供する。				
事業実施状況	○主な事業 ・各地区人権教育協議会総会・研修会（23地区） ・地区人権・同和教育懇談会・学習会等実施状況 【学級講座】 肱南（2回）、肱北（6回）、久米（3回）、平（2回）、平野（3回）、南久米（4回）、三善（5回）、上須戒（4回）、長浜（2回）、沖浦（2回）、今坊（2回）、櫛生（1回）、出海（2回）、大和（1回）、白滝（1回）、肱川（1回）、河辺（1回） ・人権啓発課 人権啓発指導員による講演 21回（584人参加）（研修会、地区学習会等）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	各地区で人権・同和問題に関する学習会等が毎年実施されている。市人権啓発課と連携して、一人ひとりの人権問題に対する理解を深め、差別解消に向けた取り組みを推進できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後も学習を継続し、各地区であらゆる機会を活用して学習回数を増やし、市民の人権尊重意識の高揚を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	中央公民館	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 公民館事業の推進				
事 業 名	23 大洲市民大学				
目 的	市民参加の生涯学習の充実を図り、市民の文化に対する意識の高揚を図るとともに、新たな知識を吸収する場を提供することを目的として、時代や地域課題に即したテーマで大洲市民大学を開催する。				
事業実施状況	【前期】 1 講 師 木山 裕策 氏（歌手） 2 演 題 『ガンが教えてくれたこと ～自分に向き合って見つけた夢～』 3 日 時 令和5年6月25日（日）14：00～15：30 4 場 所 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール 5 聴講者 224人 【後期】 1 講 師 スマイリーキクチ 氏（タレント） 2 演 題 『インターネットに潜む危険なワナ ～加害者や被害者にならないために～』 3 日 時 令和5年10月7日（土）14：00～15：30 4 場 所 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール 5 聴講者 110人				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,315	1,315	1,315	1,320
	決 算 額	0	0	660	844
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	50.2%	63.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	660	844
事業の成果	講師自らの体験に基づく講演によって、聴講者は新たな知識を得るとともに、「病氣」も「インターネットによるトラブル」も決して他人事ではなく身近なものであるということを再認識できる機会となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	多くの市民に参加していただくために、多種多様な分野の中から時勢に合ったテーマや講師の選定を行い、有意義な講演会となるよう検討が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	中央公民館	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 公民館事業の推進				
事 業 名	24 科学体験フェスティバルin大洲				
目 的	子供たちが科学実験や工作を直接体験し、自然の不思議さや科学の面白さを実感することにより、科学や技術に対する興味や関心を高めていくことを目的に開催する。				
事業実施状況	(桝山教育振興会助成事業) 主に小中高生を対象として、小中学校、高校、高等専門学校等の教員や地域の有志が科学実験や工作等を直接体験できるブースを出展する体験型イベントを実施した。 1 日 時 令和5年10月21日(土) 10:00～15:30 2 場 所 ①国立大洲青少年交流の家(メイン会場) ②長高水族館(サブ会場) 3 出展数 18ブース(長高水族館含む) 4 来場者 1,797人(うち長高水族館は300人) 5 スタッフ 228人				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,300	1,300	1,783	1,754
	決 算 額	0	0	1,600	1,538
	繰 越 額	0	0	183	216
	執 行 率	0.0%	0.0%	89.7%	87.7%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	1,100	1,038
	一般財源	0	0	500	500
事業の成果	アンケート結果などから、来場者である子供たちの科学等に対する興味・関心を高めることができたものと考ええる。また、ブースの企画運営にあたる教職員の資質向上にも寄与することができた。 新型コロナウイルス感染症によるイベント開催の制限が無くなり、通常どおりの開催に多くの方が喜んでくださり、親子のふれあいの場としても役立ったものと考ええる。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	それぞれの年齢層に応じた体験ができるようにブース内容を工夫する必要がある。また、教員の働き方改革の観点から、出展数の調整や従事内容等の見直しも課題となっている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名			生涯学習課								係 名		生涯学習係								年度		R5																																																																																																																																																																												
基 本 目 標			2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興																																																																																																																																																																																																
基 本 方 針			1 生涯学習の推進																																																																																																																																																																																																
主 要 施 策			2 公民館事業の推進																																																																																																																																																																																																
事 業 名			25 学級講座事業																																																																																																																																																																																																
目 的			すべての市民があらゆる学習の機会、あらゆる場所を利用して、教養の向上、健康の増進を図り、その成果を地域づくり活動に生かすため、地域の実情に応じた多様な学級講座を開設する。																																																																																																																																																																																																
事業実施状況			中央公民館ほか23公民館において、各種学級・講座を実施することにより、市民への学習機会の提供を図るとともに、自主的な学習活動の支援に努めた。																																																																																																																																																																																																
			<table><tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>公民館名</td><td>中央</td><td>肱南</td><td>肱北</td><td>久米</td><td>平</td><td>平野</td><td>南久米</td><td>菅田</td><td>大川</td><td>柳沢</td><td>新谷</td><td>三善</td><td>八多喜</td><td>上須戒</td><td>長浜</td><td>沖浦</td><td>今坊</td><td>櫛生</td><td>出海</td><td>大和</td><td>豊茂</td><td>白滝</td><td>肱川</td><td>河辺</td></tr><tr><td rowspan="4">学級・講座（教室）名</td><td>女性成人</td><td>女性成人</td><td>青年女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>青年女性</td><td>青年女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td></tr><tr><td>家庭高年齢者子ども</td><td>家庭高年齢者子ども</td><td>成人女性</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>成人女性</td><td>成人女性</td><td>家庭高年齢者子ども</td><td></td><td>家庭高年齢者子ども</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td><td>家庭高年齢者</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>回数</td><td>86</td><td>16</td><td>150</td><td>26</td><td>13</td><td>20</td><td>29</td><td>18</td><td>46</td><td>13</td><td>35</td><td>81</td><td>5</td><td>45</td><td>44</td><td>123</td><td>9</td><td>7</td><td>12</td><td>8</td><td>18</td><td>14</td><td>10</td><td>26</td></tr></table>																									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	公民館名	中央	肱南	肱北	久米	平	平野	南久米	菅田	大川	柳沢	新谷	三善	八多喜	上須戒	長浜	沖浦	今坊	櫛生	出海	大和	豊茂	白滝	肱川	河辺	学級・講座（教室）名	女性成人	女性成人	青年女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	青年女性	青年女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	家庭高年齢者子ども	家庭高年齢者子ども	成人女性	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	成人女性	成人女性	家庭高年齢者子ども		家庭高年齢者子ども	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者																																															回数	86	16	150	26	13	20	29	18	46	13	35	81	5	45	44	123	9	7	12	8	18	14	10	26
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24																																																																																																																																																																								
			公民館名	中央	肱南	肱北	久米	平	平野	南久米	菅田	大川	柳沢	新谷	三善	八多喜	上須戒	長浜	沖浦	今坊	櫛生	出海	大和	豊茂	白滝	肱川	河辺																																																																																																																																																																								
			学級・講座（教室）名	女性成人	女性成人	青年女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	青年女性	青年女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性	成人女性																																																																																																																																																																								
				家庭高年齢者子ども	家庭高年齢者子ども	成人女性	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	成人女性	成人女性	家庭高年齢者子ども		家庭高年齢者子ども	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者	家庭高年齢者																																																																																																																																																																									
回数	86	16	150	26	13	20	29	18	46	13	35	81	5	45	44	123	9	7	12	8	18	14	10	26																																																																																																																																																																											
事業年度			R2				R3				R4				R5																																																																																																																																																																																				
事業費	予算額		6,316				6,756				7,636				7,926																																																																																																																																																																																				
	決算額		1,778				1,832				2,718				3,799																																																																																																																																																																																				
	繰越額		0				0				0				0																																																																																																																																																																																				
	執行率		28.2%				27.1%				35.6%				47.9%																																																																																																																																																																																				
事業区分			市単独事業				市単独事業				市単独事業				市単独事業																																																																																																																																																																																				
財源	国庫補助金		0				0				0				0																																																																																																																																																																																				
	県補助金		0				0				0				0																																																																																																																																																																																				
	地方債		0				0				0				0																																																																																																																																																																																				
	その他特財		0				0				0				0																																																																																																																																																																																				
	一般財源		1,778				1,832				2,718				3,799																																																																																																																																																																																				
事業の成果			新型コロナウイルス感染症による制限が解除され、地域住民の学習機会や交流の場を設けるために各公民館が工夫して学級講座等を開催した。実施回数も令和4年度より約100回多い854回となった。																																																																																																																																																																																																
自己評価			所 属 長				○		担 当 者				○																																																																																																																																																																																						
課題・問題点			コミュニティセンター移行後も公民館で実施していた生涯学習事業を継続するため、教育委員会として出前講座の情報提供や職員研修の機会などを提供していく必要がある。																																																																																																																																																																																																

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	3 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	26 図書館資料収集整理事業				
目 的	生涯学習の拠点のひとつとして、多様な市民ニーズに対応するため、図書等の資料の充実に努めるとともに、文化遺産としての郷土資料を大切に保存し、郷土への理解の深化と郷土文化の向上に努める。				
事業実施状況	○資料収集状況 (桧山教育振興会助成事業) (1)図書 購入冊数：大4,025、長723、肱553、河213、計5,514 寄贈冊数：大416（うち、桧山文庫161）、長71、肱49、河11、計547 編入他冊数：大113、長△16、肱3、河△1、計99 廃棄冊数：大1,921、長800、肱0、河457、計3,178 (2)CD 購入本数：大59、長0、肱0、河0、計59 寄贈本数：大0、長0、肱0、河0、計0 編入他本数：大0、長0、肱0、河0、計0 廃棄本数：大0、長0、肱0、河0、計0 (3)DVD 購入本数：大47、長0、肱0、河0、計47 寄贈本数：大2、長0、肱0、河0、計2 編入他本数：大0、長0、肱0、河0、計0 廃棄本数：大3、長0、肱0、河0、計3 (4)年度末蔵書数 ①本 館 169,111 ②長浜分館 28,306 ③肱川分館 14,985 ④河辺分館 7,654 計 220,056				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	14,854	13,476	13,577	13,940
	決算額	14,852	13,474	13,569	13,921
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	99.9%	99.9%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,800	400	400	400
	一般財源	13,052	13,074	13,169	13,521
事業の成果	市民の要望や蔵書構成バランスを考慮した一般・児童図書の選書購入と郷土資料の収集に努めるとともに、寄贈図書の整理や貴重資料の保存・修繕を行い、市民の広範な学習活動に供することができた。また様々な種類のバリアフリー資料も徐々に収集できてきている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	収集したバリアフリー資料を有効活用できるようバリアフリーサービス提供に向けて実施要領等を整備する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	3 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	27 読書活動推進事業				
目 的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として事業推進を図る。特に、子供読書活動推進に対する保護者の理解促進を図り、家庭での読み聞かせや読書の重要性を啓発する。				
事業実施状況	○ 主な事業 (1)生涯学習講座（5月～3月：10回） 参加者：延べ166人 (2)おはなし会（年間34回） （プラタナスの会、おはなし玉手箱、ビブリオおはなし会、図書館主催おはなし会） 参加者：延べ564人 (3)読書感想文集（令和5年12月） 応募者：113人、入賞者：20人、佳作者：93人 (4)読書感想画展（令和6年1月） 応募者：141人、入賞者：130人、観覧者：644人（大洲） (5)多読書者表彰（令和6年3月） 低学年：150冊、中学年：100冊、高学年：50冊（ページ数の場合、3～6年生：10,000ページ）、中学生：30冊 応募者：943人 (6)うちどく（家読）事業 ①うちどくチャレンジ！努力賞・最多賞表彰（令和6年2月） 努力賞受賞者：72人、最多賞受賞者：5人 ②うちどくチャレンジ！コンテスト表彰（令和6年2月） 学校への応募総数：421人 図書館への応募数（学級3人まで）：110人 最優秀賞受賞者：5人、優秀賞受賞者：5人、佳作者：26人 ③肱北公民館うちどく図書館見学（令和5年6月） 参加者：愛護班委員8名、肱北公民館職員2名 (7)ブックトーク 久米小学校（令和5年11月） 対象：5年生21名 (8)大洲市読書活動研究集会（宇佐美まこと氏講演会） 参加者：61名				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	853	811	964	903
	決算額	782	741	884	810
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.7%	91.4%	91.7%	89.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	782	741	884	810
事業の成果	肱北公民館の依頼に応え、「うちどく説明・図書館見学」を行い、家庭への働きかけができた。また、久米小学校の依頼により「ブックトーク」を行い、読書への関心を持たせることができた。3年ぶりに読書活動研究集会を開催し市民の教養を高めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	うちどく事業の取組状況については、学校等により大きな差があるため、関係施設に協力を呼びかけるなどの連携強化が必要。うちどく取り組みが難しい年齢層や家庭環境の子どものために、ともどく（友読）実施に向けても検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	3 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	28 視聴覚教育推進事業				
目 的	視聴覚教材等の整備を図るとともに、学校教育・社会教育の視聴覚教育の発展に寄与する。				
事業実施状況	学校、社会教育施設等で行われる研修や学習会において、効果的な視聴覚教材を提供するため、学校等にアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。さらに内子町、大洲市の教諭や社会教育担当職員で構成する大洲市視聴覚センター研究委員会を開催し、管内での視聴覚教材や、機器の利用状況を把握した。 (1) 視聴覚機材及びDVD教材購入 ・DVD教材（人権啓発等）7本 (2) 教材等利用状況 ・ビデオ：大洲0件、内子2件 合計2件 ・16mm：大洲5件、内子0件 合計5件 ・DVD：大洲25件、内子13件 合計38件				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	483	483	483	483
	決算額	472	477	407	482
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.7%	98.8%	84.3%	99.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	472	477	407	482
事業の成果	視聴覚教材を整備し、利用しやすい環境をつくり、情報化社会に対応したマルチメディア教材の普及に努め、学校教育・社会教育における視聴覚教育の振興に寄与した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	教材等の利用数が少ないため、利用者の求める資料の収集、周知方法等について検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		生涯学習課		係 名	生涯学習係		年度	R5
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		1 生涯学習の推進						
主 要 施 策		4 文化研修センター事業の推進						
事 業 名		29 パソコン教室事業						
目 的		初級操作からデジタル画像編集、チャットGPTに至るまで、特にニーズの高いパソコン教室を開催し、市民に生涯学習の場を提供する。						
事業実施状況		こどもパソコン教室◆開講時期 令和5年7月28日～8月19日						
		コース名		回数	受講者数	修了者数		
		プログラミングコース（金曜午前）		計4回	8 名	8 名		
		プログラミングコース（土曜午後①）		計4回	3 名	3 名		
		プレゼンテーションコース（金曜午後）		計4回	2 名	2 名		
		プログラミングコース（土曜午後②）		計4回	1 名	1 名		
		計		計16回	14 名	14 名		
		前期◆開講時期 令和5年10月11日～12月8日						
		コース名		回数	受講者数	修了者数		
		初級コース（昼）		計8回	7 名	6 名		
初級コース（夜）		計8回	3 名	3 名				
中級コース		計8回	7 名	7 名				
チャットGPTコース（夜）		計8回	4 名	4 名				
チャットGPTコース（朝）		計8回	2 名	2 名				
チャットGPTコース（昼）		計8回	4 名	4 名				
デジタル画像編集コース		計8回	4 名	4 名				
プレゼンテーションコース		計8回	1 名	1 名				
SNS用動画編集コース		計8回	6 名	5 名				
計		計72回	38 名	36 名				
後期◆開講時期 令和6年1月10日～2月21日								
コース名		回数	受講者数	修了者数				
中級コース（木曜）		計6回	5 名	5 名				
初級コース		計6回	7 名	7 名				
中級コース（水曜）		計6回	4 名	4 名				
デジタル画像編集コース		計6回	1 名	1 名				
チャットGPTコース（昼）		計4回	6 名	6 名				
チャットGPTコース（夜）		計4回	2 名	2 名				
計		計32回	25 名	25 名				
事業年度		R2	R3	R4	R5			
事業費	予 算 額	1,092	878	1,092	1,252			
	決 算 額	1,079	583	1,083	1,246			
	繰 越 額	0	0	0	0			
	執 行 率	98.8%	66.4%	99.2%	99.5%			
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	補助事業			
財 源	国庫補助金	0	0	0	1,200			
	県補助金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他特財	0	0	0	0			
	一般財源	1,079	583	1,083	46			
事業の成果		令和5年度は、国の「情報通信技術講習事業費補助金」を活用し、計120回の講座を開催した。夏休み期間中の「こどもパソコン教室」や、前期・後期の講座内容にチャットGPTやSNS用動画編集コースを設けるなど、新たな試みを取り入れた。本事業の実施により、個人のPCスキルの向上に寄与することができた。						
自己評価		所 属 長	◎	担 当 者	◎			
課題・問題点		パソコン教室の会場であった文化研修センターが令和5年度末で廃止となりコミュニティセンターに移行したことから、今後のパソコン教室の在り方について検討が必要である。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	30 親と子のコンサート事業				
目 的	国内外で活躍する演奏者の音楽を通して、大洲市民の文化・芸術の向上並びに青少年の豊かな感性及び創造力の育成を目的としてコンサートを開催する。				
事業実施状況	(桝山教育振興会助成事業) ○おおず親と子のコンサート2023 ～松本和将&上里はな子デュオコンサート～ ■実施日時 令和6年3月9日 14時から ■会 場 市民会館大ホール ■演奏者 松本和将(ピアノ) 上里はな子(ヴァイオリン) ■来 場 者 493名				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	1,500	1,000	1,500	1,500
	決算額	0	900	1,414	761
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	90.0%	94.3%	50.7%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	500	500
	一般財源	0	900	914	261
事業の成果	クラシックの馴染みの名曲を中心とした選曲と、演者による楽曲解説などのトークにより、来場者からも満足度が高い旨の感想が聞かれるコンサートとなった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	演奏者の選定や、コンサートの開催方法などについて検討していく必要がある。ホール内の暖房調整が難しいため、座席位置によって「暑い」「寒い」の意見があり改善が求められる。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	31 文化・芸術団体活動支援事業				
目 的	文化・芸術団体の活動支援を行うとともに、文化・芸術に対する市民の意識の高揚を図る。				
事業実施状況	市民の文化・芸術に対する意識の高揚を図るため、文化・芸術活動を実施している団体に対し、事業運営補助として支援を実施した。 1 文化・芸術団体への活動補助 ■補助実績 6団体 2,020千円 ・長浜地区生活文化祭実行委員会 286千円 ・柳沢げんじぼたる保存会 120千円 ・大洲市文化協会 1,275千円 ・かわべ扇子踊り保存会 17千円 ・大洲史談会 161千円 ・長浜史談会 161千円 2 ながはま赤橋俳句大会 広く投句を募集し、応募された句を選句し、結果を発表した。 3 長浜生活文化祭 作品展示のほか、コンサートなどのイベントを行った。 4 大洲少年少女合奏団活動支援（桝山教育振興会助成事業） 助成金の申請は行われなかったものの、音楽祭や、公民館でのミニコンサートを開催するなどの活動を行った。 令和6年度からは助成金申請も行い、本格始動の予定。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	3,151	3,119	3,136	3,219
	決 算 額	673	2,286	2,347	2,699
	繰 越 額	0			
	執 行 率	21.4%	73.3%	74.8%	83.8%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	673	2,286	2,347	2,699
事業の成果	事業に際し、人数制限などの規制がなくなったこともあり、各種イベント・講座などについて、コロナ禍以前の賑わいを取り戻すことが出来た。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	各種団体の構成員の高齢化により、団体数が減少しつつあるため、伝統文化を継承していくための方策を検討の必要性が高まっている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	2 文化財の保存と活用				
事 業 名	32 文化財保存活用及び顕彰事業				
目 的	文化財の保存・活用などに関する指導・支援を行うとともに、見学会などを開催することで市民の文化財への関心と愛護精神の高揚を図る。				
事業実施状況	1 臥龍山荘庭園管理事業の推進 ■管理技術指導 令和5年7月18日、令和5年11月30日 2 「大洲城跡」石垣保存修復事業の推進（都市整備課共同事業） ■二の丸西曲輪（石垣A-2箇所）の石垣積直工事の実施 ■二の丸北曲輪（石垣D-1箇所）の発掘調査・測量の実施 3 大洲市埋蔵文化財センター管理及び出土遺物整理の充実 4 大洲市文化財保護事業補助金の交付 ■申請件数 3件 ■交付決定額 496千円 5 名勝臥龍山荘庭園保存活用計画の策定 名勝を適切に保存・活用していくための保存活用計画を令和6年3月に策定した。 ■策定委員会 令和5年7月19日、令和6年1月24日 6 国登録有形文化財の登録推進 国登録有形文化財への登録推進を図るための確認調査を実施した。 なお、これまでに調査を実施した4件が新たに国登録有形文化財となった。 ■調査件数 11件 ■現地指導 令和5年10月24日 岡山理科大学教授 令和5年12月8日 文化庁調査官				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	12,106	15,426	21,476	13,698
	決算額	8,998	10,679	15,650	10,991
	繰越額	0	0		
	執行率	74.3%	69.2%	72.9%	80.2%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	1,148	1,539
	県補助金	0	0	484	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	8,998	10,679	14,018	9,452
事業の成果	名勝臥龍山荘庭園の保存活用計画を策定することにより、本庭園を適切に保存・活用していくための指針を示すことができた。また、これまでに候補物件として調査した4件が新たに国登録有形文化財になるなど、登録推進を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	文化財の普及啓発を図るとともに、文化財への関心をより高めるための見学会や講演会などを積極的に実施していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	2 文化財の保存と活用				
事 業 名	33 民俗芸能保存団体活動支援事業				
目 的	各地域における民俗芸能保存団体活動の支援と、地域に根付いた歴史・伝統・文化の伝承を図る。				
事業実施状況	1 無形文化財・無形民俗文化財に指定されている団体への活動補助 ■補助実績 6 団体 886千円 ・主馬神伝流保存会 400千円 ・藤縄神楽保存会 242千円 ・上須戒相撲甚句保存会 50千円 ・青島盆踊り保存会 0千円 ・伊予長浜豊年踊り保存会 80千円 ・豊茂五ツ鹿踊り保存会 0千円 ・大谷文楽保存会 50千円 ・山鳥坂鎮縄神楽保存会 64千円 2 大洲神伝流保存会日本泳法大会出場事業（桝山教育振興会助成事業） ■第68回日本泳法大会（千葉県習志野市） 開催日 令和5年8月19、20日				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	1,325	1,325	1,325	1,109
	決算額	795	646	967	1,086
	繰越額	0			
	執行率	60.0%	48.8%	73.0%	97.9%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0	181	200
	一般財源	795	646	786	886
事業の成果	人数規制などもなく、コロナ禍以前の状況にほぼ戻った状態で各事業を行うことが出来た。地域に根付いた歴史・伝統・文化の継承活動に対する財政的支援を行い、後継者育成などに寄与することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	コロナ禍の活動自粛の影響により、人手が集まらず活動を行えなかった団体があるなど、構成員の高齢化など、後継者育成の必要性が高まっている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	34 指定文化財見直し事業				
目 的	指定文化財について、専門家による学術的な再調査を実施することで文化財的価値を明確にし、新たな文化財の発見や指定解除の判断材料とする。				
事業実施状況	市内に所在する指定文化財 1 件と未指定文化財 2 件の調査を実施した。なお、指定文化財を新たに 4 件指定するとともに、3 件を解除し指定文化財の見直しを図った。 ■調査物件 3 件 ・史跡 菅田城跡、汗生城跡、高森城跡 ■指定した文化財 4 件 ・有形（建造物）旧松井家住宅主屋附祝詞 ・有形（古文書）八幡神社文書 ・有形民俗 八幡神社秋祭りの神幸道具 ・無形民俗 八幡神社の祭礼行事とお成り ■解除した文化財 3 件 ・史跡 三瀬諸淵生家 ・天然記念物 田処の大クワ ・天然記念物 大元神社のナギ				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	153	113	183	183
	決算額	0	23	15	30
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	20.4%	8.2%	16.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	23	15	30
事業の成果	これまでの調査により、本年度新たに 4 件を指定し、3 件を解除するなど指定文化財の見直しを図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特に有形文化財の絵画、歴史資料、彫刻などの分野について、専門家を招聘して調査を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	35 市内遺跡確認調査事業				
目 的	「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた取組として、本市では旧宇和島街道と旧八幡浜街道を対象に、国の史跡指定を目指した調査事業を実施する。また、中世城館跡や弥生時代遺跡などの市内遺跡についても並行して調査を実施する。				
事業実施状況	1 旧街道詳細調査 旧八幡浜街道は「八幡浜街道夜昼峠越」として令和5年3月20日に、旧宇和島街道は「伊予遍路道大寶寺道」として令和6年2月21日にそれぞれ国の史跡に指定され、旧街道詳細調査を完了した。 2 中世城郭跡調査 肱川地域（汗生城跡）、大洲地域（菅田城跡・高森城跡）、長浜地域（笠間城跡・永田の城跡・花林城跡）の城跡について、試掘調査や縄張図の作成などを行った。 3 弥生時代遺跡調査 村島宮の首遺跡・都谷遺跡について試掘調査を実施した。また、出土遺物の整理作業を進めるとともに、地形測量図の作成や九州大学と石器石材の分析を行うなど調査研究を進めた。 ■現地指導 令和5年9月3・4日 愛媛大学名誉教授・九州大学准教授 令和6年3月4・11・18日 元愛媛県教委文化財保護課担当官 令和6年3月21日 愛媛大学名誉教授				
			R3	R4	R5
事業費	予 算 額	11,834	8,091	3,862	5,199
	決 算 額	8,739	5,680	3,175	4,781
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	73.8%	70.2%	82.2%	92.0%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	4,360	2,839	1,540	2,390
	県補助金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他特財	0	0		0
	一般財源	4,379	2,841	1,635	2,391
事業の成果	旧街道詳細調査の調査成果により、「伊予遍路道大寶寺道」を市内で2件目となる国史跡に指定することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	史跡指定後の維持・管理、活用について検討していく必要がある。中世城館跡調査、弥生時代遺跡調査は継続して調査を推進するとともに、成果をまとめた調査報告書の作成が課題である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	36 市内絵馬調査事業				
目 的	大洲市内66か所の神社に奉納されている江戸時代から大正期までの絵馬約330点について、現状調査を実施し、歴史的価値を明確にする。さらに、大洲市の歴史・文化を継承するために必要と判断される絵馬については、積極的に文化財指定を図っていく。				
事業実施状況	大洲市内12か所の神社に奉納されている江戸時代から昭和期までの絵馬100点について、愛媛大学日本史研究室の協力を得て調査を実施した。 ■調査神社数 12社 大洲地域（11社）、長浜地域（1社） ■調査点数 100点				
		R3	R4	R5	
事業費	予算額	948	1,027	508	
	決算額	115	715	328	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	12.1%	69.6%	64.6%	
事業区分		補助事業			
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	115	715	328	
事業の成果	大洲地域・長浜地域内の神社について現況調査を実施することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	円滑な調査を実施するため、愛媛大学とのさらなる連携及び調整が必要である。報告書作成のデータ編集を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策		4 博物館事業の推進				
事 業 名		37 資料収集整理事業				
目 的		大洲市に關係する資料の調査・収集に努めるとともに、企画・特設展の開催に伴う資料調査を実施する。 収蔵資料の整理、目録を作成するとともに、収蔵品管理システムへの登録を行うことで、利用者が利用しやすい環境を整える。				
事業実施状況		1 収蔵資料 ■購入 2 件 ・大洲・新谷藩関係書画軸物 ・加藤文麗筆「鯉図」 ■寄贈 8 件 ・いろは丸模型 ・森本泰次郎版画 ・河田製糸 河田忠志資料 ・門田豊市資料 ・サカタ謄写版 ・坂本榮太郎氏彫刻作品 ・矢野玄道筆漢詩書、フィルムカメラ ・富岡春子和歌短冊 2 収蔵品管理システム「I. B. MUSEUM」を活用し、収蔵品管理の効率化を図り、資料調査者へ検索システムを提供した。 ■利用件数 23件				
事業年度		R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,276	1,266	1,653	1,669	
	決 算 額	1,260	1,071	1,619	1,281	
	繰 越 額	0	0	0	0	
	執 行 率	98.7%	84.6%	97.9%	76.8%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	一般財源	1,260	1,071	1,619	1,281	
事業の成果		大洲市に關する資料の収集に努めた。特にいろは丸模型については、数少ない立体模型として常設展での活用を図ることができた。また、収蔵資料について、目録第1集を刊行することで資料活用の環境を整えることができた。				
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点		収蔵資料の増加により収蔵庫が手狭となっており、資料の受け入れ方法について検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	38 展示活動事業				
目 的	魅力的な企画・特別展・特設展の開催に努めるとともに、歴史・民俗・自然など、常設展の充実を図る。また、市民ギャラリーなどを開催し、特別展示室の有効活用を図る。				
事業実施状況	1 大洲市立博物館（入館者 3,553人） 2 主な展示活動 ■特別展（4階展示室） 「お殿様のたしなみ」 令和5年4月29日～9月3日 「中江藤樹と川田雄琴」 令和5年9月16日～令和6年1月14日 「大洲藩刀工岡本家」 令和6年1月30日～4月7日 ■市民ギャラリー（5階特別展示室） 「梅林鶴子パッチワーク展」 令和5年6月3日～7月17日 「レンガのある風景はがきコンクール秀作展」 令和5年8月1日～10月2日 「藤樹まつり児童生徒書画作品展」 令和5年10月18日～11月18日 「小学校理科自由研究作品展」 令和5年12月14日～令和6年1月14日 「第8回県展入選者（大洲市在住）作品展～」 令和6年1月30日～2月25日 「きっと鳥が好きになる～日々を彩る野鳥展」 令和6年3月12日～5月6日				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	347	347	347	239
	決算額	316	341	208	198
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.1%	98.3%	59.9%	82.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	316	341	208	198
事業の成果	特別展を通して、市内外の人々に大洲の歴史や文化について広く紹介することができた。 また、様々な市民ギャラリーを開催することで、特別展示室の有効活用を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	入館者に対して、展示内容等が伝わるよう展示構成や解説などについて工夫を行っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	39 教育活動事業				
目 的	一般市民や小学生を対象とした教室・講座などを開設するとともに、博物館報を発行し、生涯学習の機会や情報の提供を行う。				
事業実施状況	1 ふるさと見聞講座（生涯学習講座） ■対象者 一般市民(成人) ■開講実績 7回 ■参加人数 180人 2 大洲歴史文化教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 6回 ■参加人数 104人 3 大洲自然科学教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 6回 ■参加人数 121人 4 史談会活動の支援 大洲の歴史・地理・文化・産業などに関する調査・研究を行う大洲史談会に対して事業の活動支援を行った。 5 学校教育との連携 ■中学校職場体験 ・新谷中学校 令和5年7月4日～7日 ■小学校社会科授業サポート ・喜多小学校 令和5年9月15日 ・肱川小学校 令和6年2月20日、3月5日				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	1,620	1,620	1,620	1,500
	決算額	1,535	1,554	1,520	1,457
	繰越額	0	0		0
	執行率	94.8%	95.9%	93.8%	97.1%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	900	900	900	900
	一般財源	635	654	620	557
事業の成果	一般市民や小学生を対象とした講座・教室を開設することで、生涯学習の機会を提供することができた。また、博物館資料を活用した社会科授業サポートを実施することで、学校との連携を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	博物館が収蔵する豊富な資料を教育資源として有効活用していくために、学校をはじめ関係機関と綿密な連携を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	文化振興係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	40 博物館等施設再編の検討				
目 的	市内博物館等施設は、建築後40年を越える施設もあり老朽化が著しく進んでいる。また、収蔵庫についても飽和状態となっており、改修又は建替えなどについて検討する必要性が生じている。 このことから、現状を調査し課題等を整理し大洲市全体の博物館等施設の根本的な役割及び必要性及び方針を検討する。				
事業実施状況	市内の既存の博物館施設における現状や課題を整理するための情報収集に努め、大洲市全体の博物館等施設の検討にかかる今後の進め方について検討した。				
事業年度	R5				
事業費	予算額	0			
	決算額	0			
	繰越額	0			
	執行率				
事業区分	その他				
財源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	0			
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	大洲市立博物館の現状や課題について、館内での意見集約に努め、今後の検討の進め方について検討した。				
自己評価	所 属 長	△	担 当 者	△	
課題・問題点	博物館及び担当課内で、新たな博物館についての方向性を協議する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	41 大洲市スポーツ推進計画の施策の推進				
目 的	「大洲市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進を図る。				
事業実施状況	令和2年3月に策定した「大洲市スポーツ推進計画」に基づき、各施策を推進した。 1 スポーツ機運の定着と地域振興 ■大洲市公式HP、twitter、Facebookを活用した情報発信 2 スポーツ参画人口の拡大 ■ラケットテニスの普及促進 ・定期開催 7 公民館（長浜、南久米、平、沖浦、白滝、豊茂、大和） ・ラケットテニス大会の開催 令和5年12月3日（28名） ■総合体育館トレーニング教室 前期実施（2人） 後期実施（7人） 3 スポーツ環境の充実と競技スポーツの発展 ■総合型スポーツクラブの情報収集 愛媛県総合型スポーツクラブ連絡協議会において意見交換。 4 スポーツを通じた交流の促進と地域活性化 ■愛媛OVバスケットボール教室の開催 ・令和5年6月11日（日）開催 ■愛媛MP公式戦大洲市応援デーの開催 ・令和5年5月20日（土）開催 ■愛媛FCマッチシティの開催 ・令和5年8月26日（土）開催				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	621	621	621	747
	決算額	111	542	689	581
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	17.9%	87.3%	111.0%	77.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	111	542	689	581
事業の成果	2 公民館（久米、出海）において、職員を派遣し、ラケットテニス体験教室を実施した。また、ラケットテニス大会を2年ぶりに開催するなどして普及促進に努めた。 プロスポーツを活用した地域活性化などの「大洲市スポーツ推進計画」の各施策を推進した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	大洲市スポーツ推進計画の施策の推進は、「大洲市スポーツ推進計画」の各項目に基づき、数値目標の達成に向け、大洲市スポーツ協会など関係団体と連携しながら、スポーツイベントを推進する。 ニュースポーツ、プロスポーツを活用した地域活性化に向けた草の根的な継続した取り組みが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	42 健康寿命延伸事業の推進				
目 的	健康寿命の延伸に向けて、市民が自主的に取り組める環境づくりを進めるために効果的な「いきいき百歳体操」の普及を図る。 また、総合体育館のトレーニング器具を誰でも気軽に利用できる体制に整える。				
事業実施状況	日常生活に必要とされる動作やそれらに必要な筋力アップに効果がある「いきいき百歳体操」の普及を図るとともに、各公民館にて体験教室を開催した。 また、市民の健康維持と体力向上を図るため、総合体育館においてもトレーニング教室（骨々貯筋クラブ）を開催した。 1 「いきいき百歳体操」の普及促進 ■定期開催 ・実施団体 3 公民館（久米、豊茂、白滝） ・参加者 696人 ■体験教室 3 公民館（肱南、肱北、櫛生）及び社会福祉協議会のサロン事業にて開催。 2 総合体育館における教室の開催 ■トレーニング教室（骨々貯筋クラブ） ・開催日 【前期】 6月～8月 【後期】 11月～1月 ・場 所 大洲市総合体育館トレーニング室 ・受講者 【前期】 2人 【後期】 7人				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	523	360	360	240
	決 算 額	424	180	240	175
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	81.1%	50.0%	66.7%	72.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	424	180	240	175
事業の成果	「いきいき百歳体操」の推進により、市民の健康づくり、体力づくりに対する意識高揚及び活性化に寄与した。 「骨々貯筋クラブ」の開催により、トレーニング室の利用促進かつ市民の生活の維持・向上につながった。				
自己評価	所 属 長	△	担 当 者	△	
課題・問題点	「いきいき百歳体操」体験教室の開催後に、定期開催に結び付くようサポートが必要である。 「骨々貯筋クラブ」の参加者が減少傾向にあるため、実施内容や方法を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	43 D Xを活用した事業の推進				
目 的	市民の身体活動の減少による筋力量の低下や認知機能の低下などを予防するため、市全体を運動の場として取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸に繋げていく。				
事業実施状況	D Xの推進やサービスの向上を図るため、施設予約システム・スマートロックの実証実験を行うとともに、オンラインスポーツの普及を推進した。 1 施設予約システム・スマートロックの実証実験 ■場 所 総合体育館、喜多小学校、大洲北中学校、平野小学校、平野中学校 2 Let's Doスポーツ事業 ■令和4年6月3日 株式会社アールビーズと包括連携協定を締結。				
事業年度	R4	R5			
事業費	予 算 額	2,400	0		
	決 算 額	1,020	0		
	繰 越 額	0	0		
	執 行 率	42.5%	0.0%		
事業区分	市単独事業	市単独事業			
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	1,020	0		
事業の成果	実証実験を通して得られた結果を関係課と共有することができた。 オンラインスポーツにおいては、ウィズコロナにも対応したイベントを推進し、市民の健康増進及び健康寿命の延伸に寄与した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	施設予約システム・スマートロックの本格導入に向けて関係課との協議をさらに深めていく必要がある。 包括連携協定により可能になるD Xを活用した事業の拡大を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	44 大洲市カヌーツーリング駅伝大会				
目 的	郷土の母なる川「肱川」の自然に親しむことにより、「川」を大切にする意識の高揚を図るとともに、カヌーの普及と生涯スポーツの振興に資する。				
事業実施状況	○大洲市カヌーツーリング駅伝大会 (さようなら富士橋記念大洲市カヌーツーリング駅伝大会) ■実施日時 令和5年8月20日 9時 ■コース 肱川カヌーコース (如法寺河原⇄肱川橋下河川敷) ■参加者 247人(33チーム)				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	712	712	712	712
	決算額	0	0	444	712
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	62.4%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	444	712
事業の成果	富士橋解体記念イベントとタイアップして本事業を開催した。33チーム(247人)の参加があり、カヌーの普及に寄与することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	河川や堤防の工事の進捗状況を加味しながら、参加者が安全・安心に参加できるよう魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	45 大洲市駅伝大会				
目 的	大会参加チームの相互交流を深めるとともに、駅伝の普及に努める。 また、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図る。				
事業実施状況	○大洲市駅伝大会 ■実施日時 令和5年11月26日 9時30分 ■コース 若宮堤防折り返しコース (若宮堤防～喜多小学校) ■参加者 227人 (36チーム)				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	813	813	813	813
	決算額	0	0	604	813
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	74.3%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	604	813
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催した。参加者の相互交流を深めるとともに、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	来年度以降、従来の長浜～大洲間のコースに戻すか、魅力ある新コースで開催するか、検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	46 大洲市健康マラソン大会				
目 的	市民の体力の向上と健康の増進を図り、明るく豊かな市民生活の実現を目指す。				
事業実施状況	○大洲市健康マラソン大会 ■実施日時 令和6年2月25日 9時20分 ■コース 若宮堤防折り返しコース (喜多小学校～防災センター) ■参加者 雨天のため、開催中止				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	899	899	899	899
	決算額	0	0	899	533
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	100.0%	59.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	899	533
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催を予定していたが、雨天のため中止となった。				
自己評価	所 属 長	—	担 当 者	—	
課題・問題点	参加者がより積極的に参加したくなる魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。また、機構改革に伴い、スポーツ主管課職員が減少するため、運営方法の見直しが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	47 各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業				
目 的	生涯スポーツ事業の推進と、余暇を活用したレクリエーション活動の振興を図る。また、スポーツ行事やレクリエーション活動などを行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。				
事 業 実 施 状 況	各公民館においては、誰もが気軽に参加でき楽しめる様々なスポーツ行事やレクリエーション活動などを行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。				
	○各公民館イベント実施状況				
	イベント		実施公民館数		
	レクリエーションバレーボール大会		10		
	バレーボール大会		1		
	ゲートボール大会		2		
	クロッケー大会		1		
	グラウンドゴルフ大会		4		
	運動会（スポーツ大会）		6		
	ソフトボール大会		6		
	マラソン・ウォーキング大会		4		
	剣道大会		0		
	スポーツ教室		0		
	少年スポーツ大会		0		
	モルック大会		3		
事 業 年 度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,935	1,679	1,991	1,565
	決 算 額	958	724	1,000	743
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	49.5%	43.1%	50.2%	47.5%
事 業 区 分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	958	724	1,000	743
事 業 の 成 果	コロナの影響が落ち着き、スポーツイベントを実施する公民館が増加した。健康・体力づくり、仲間づくり等の観点から地域連帯意識を高めるとともに、参加者間の親睦を深めることができた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	コロナも落ち着いてきて従来の活気を徐々に取り戻しつつあるが、今後の開催方法等については、一律にコロナ前に戻すのではなく、新しい方法を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	48 スポーツ推進委員育成事業				
目 的	スポーツ推進委員の資質向上と相互交流を推進するため、各種研修会などへの参加、各種スポーツイベント協力、各地区スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。				
事業実施状況	スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき設置されたものであり、当市では34人に委嘱し、スポーツ振興のため市民に対するスポーツに関する指導・助言のほか、各種スポーツ大会に係る連絡調整を行っている。 1 各種研修会等への参加 ■大洲市スポーツ推進委員会総会 (4月28日 19人) ■愛媛県スポーツ推進委員協議会総会 (5月20日 6人) ■地区別スポーツ推進委員等研修会 (6月10日 4人) ■四国地区スポーツ推進委員研修会 (1月20、21日 2人) ■生涯スポーツ・全国体力づくり全国会議2024 (2月9日 3人) 2 各種スポーツイベントの協力 ■大洲市カヌーツーリング駅伝大会 (8月20日 7人) ■大洲市駅伝大会 (11月26日 10人) ■大洲市健康マラソン大会 (雨天のため、開催中止)				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	1,348	1,647	1,354	1,639
	決算額	1,228	1,293	1,259	1,297
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.1%	78.5%	93.0%	79.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,228	1,293	1,259	1,297
事業の成果	多くの研修会やイベントについて、コロナ禍以前のように開催することとなった。 市のイベントにも協力していただき、スポーツの推進を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ推進委員が、地域スポーツにより関わりやすくなるよう住民に対して制度の周知を行うとともに、地域スポーツ協会等と連携・協力し、地域での活躍の場の整備を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課		係 名	スポーツ推進係		年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進						
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進						
事 業 名	49 体育施設活用事業						
目 的	社会体育を通じて地域コミュニティづくりを推進するとともに、学校体育施設（屋外及び屋内運動場）の開放と利用促進を図る。						
事業実施状況	1 学校屋外運動場の利用状況						
	本 庁		14校		27,767人		
	長浜支所		2 校		1,254人		
	肱川支所		2 校		130人		
	河辺支所		1 校		0 人		
	計		19校		29,151人		
	2 学校屋内運動場の利用状況						
	本 庁		15校		67,843人		
	長浜支所		2 校		5,721人		
	肱川支所		2 校		1,956人		
	河辺支所		1 校		100人		
	計		20校		75,620人		
事業年度		R2		R3		R4	R5
事業費	予 算 額	1,056		1,837		1,325	1,056
	決 算 額	810		1,186		1,174	876
	繰 越 額	0		0		0	0
	執 行 率	76.7%		64.6%		88.6%	83.0%
事業区分		市単独事業		市単独事業		市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金	0		0		0	0
	県補助金	0		0		0	0
	地方債	0		0		0	0
	その他特財	0		0		0	0
	一般財源	810		1,186		1,174	876
事業の成果		コロナの影響により利用者が減少していたが、特に、学校屋内運動場において、徐々に回復の兆しが見えてきた。					
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○		
課題・問題点		老朽化等により利用に支障がある施設は、優先順位を考えて安全・安心に運営ができるよう修繕を行う必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	50 学校部活動の地域連携・地域移行の検討				
目 的	スポーツ関係団体の指導・育成・活動の充実に努めながら青少年スポーツの普及と指導者の育成を図る。併せて、休日の部活動の段階的な地域移行及び中学校では対応しきれっていないスポーツ種目について、学校教育、社会教育及びスポーツ関連団体等と連携を図りながら子供たちのスポーツ活動ニーズに対応できる環境づくりを検討する。				
事業実施状況	休日の部活動地域移行に向けた事業を展開した。 1 地域運動部活動推進事業（国補）の活用した実証事業の実施 軟式野球・カヌーの休日部活動の地域移行 ■軟式野球 計10回（80人参加） ■カヌー 計25回（32人参加） 2 地域実情に応じた地域移行の進め方を検討 ■部活動地域移行検討班会の実施（3回） ■地域部活動推進協議会の設置・開催（3回） 3 大洲市部活動地域移行推進計画の策定 学校や地域の実情に応じて連携・協働し、令和8年度を目途に休日における部活動の地域移行の実現を目指すもの。				
事業年度	R4	R5			
事業費	予 算 額	0	1,731		
	決 算 額	0	1,089		
	繰 越 額	0	0		
	執 行 率		62.9%		
事業区分	市単独事業	補助事業			
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	903		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	0	186		
事業の成果	想定される懸念事項について検討班会や推進協議会で協議し、令和6年度の事業着手に向け準備を行った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	生徒の安全性の確保、指導者、生徒の移動、大会の在り方等、課題は山積しており、実証事業（国補該当）を行いながら課題を解消する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	51 スポーツ協会活動事業				
目 的	スポーツ関係団体の指導・育成に努めるとともに、競技スポーツと市民スポーツの中核を担う大洲市スポーツ協会の組織強化並びに活動の充実を図ることにより、市民がスポーツを楽しむ機会の拡充と技術力の向上を図り、健康で明るい市民生活を創出する。				
事業実施状況	大洲市スポーツ協会の活動を支援し的確な指導を行うことにより、協会に加盟している競技団体の競技力の向上を図っている。また、スポーツ祭、駅伝大会、健康マラソン大会などスポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及振興を図っている。 1 スポーツ協会の構成 ■種目別スポーツ団体 23部 ■地域スポーツ団体 16団体 ■学校体育団体、賛助会員 2 スポーツ協会の活動状況 ■大洲市スポーツ祭 令和5年10月～令和6年3月 13種目 約1,300人参加 ■大洲市地域スポーツ協会対抗レクリエーションバレーボール大会 令和5年10月1日 開催 12チーム 160人が参加 ■大洲市駅伝大会 令和5年11月26日 開催 ■大洲市健康マラソン大会 令和6年2月25日 中止				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	5,459	5,570	5,744	5,889
	決算額	5,459	5,570	5,744	5,889
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	5,459	5,570	5,744	5,889
事業の成果	大洲市スポーツ協会主催の大洲市スポーツ祭は、コロナ禍ではあったが13種目部で約1,300人の参加を得て開催し、市民スポーツの機会を提供すると共に、競技力の向上と明るい市民生活の実現を創出できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	大洲市スポーツ協会が本市のスポーツ振興の核組織となれるよう、更なる組織強化を図り、各競技団体やスポーツ推進委員と連携して活動の充実を促していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	52 スポーツ少年団等活動事業				
目 的	青少年スポーツの普及と指導者の育成及び活動の活発化を図るとともに、各種スポーツ大会を開催する。				
事業実施状況	○スポーツ少年団活動事業 (桤山教育振興会助成事業) ■団 数 25団 ■団 員 数 395人(男249人、女146人) ■指導者数 68人(男60人、女 8人) (うち認定指導員数 64人) ■種目 ソフトボール、サッカー、ミニバス、剣道、バレーボール、水泳、軟式野球 ■大会 ソフトボール：3回 サッカー：2回(うち1回中止) ミニバス：2回 剣道：2回				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	546	546	546	546
	決 算 額	217	267	546	546
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	39.7%	48.9%	100.0%	100.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	50	0	200	200
	一般財源	167	267	346	346
事業の成果	ウィズコロナや団員数の減少等、様々な実情を踏まえながら大会を企画・運営し、青少年のスポーツ活動の機会を保障することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	団員数が減少し、高学年だけでチームを構成できない団が増えている。従来の方法にとらわれず、多くの団員が大会に参加できるよう、大会の開催方法等について検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	5 プロスポーツを活用した地域振興				
事 業 名	53 愛媛FC・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業				
目 的	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進する。 愛媛FC「マッチシティ」の観客動員並びに特産物販売などを通じた本市の情報発信を行う。				
事業実施状況	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進した。 愛媛FC「マッチシティ」では、特産品の配布など本市の情報を発信した。 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦は、特産品の当たる抽選会をするなど地域活性化を行った。 1 愛媛FC公式戦 大洲市「マッチシティ」 ■日時 令和5年8月26日（土） 対 カマタマーレ讃岐 ■場所 ニンジニアスタジアム ■観客 4,225人 2 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 ■日時 令和5年5月20日（土） 対 香川OG ■場所 八幡浜・大洲地区運動公園野球場 ■観客 558人 3 PRIDE OF 中四国 令和5年10月1日（日） 4 愛媛OVバスケクリニック 令和5年6月11日（日）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,607	507	507	507
	決 算 額	684	98	507	507
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	42.6%	19.3%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	684	98	507	507
事業の成果	例年開催している愛媛FCマッチシティと愛媛MP公式戦に加えて、愛媛OVバスケクリニックや「PRIDE OF 中四国」など新規事業も展開することができ、地域の活性化に貢献することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC今治のファン層の拡大を図るため、積極的に公式戦の誘致を図り、市民と選手が交流する機会を増やしていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名	54 ええモンリレーマラソン大会事業				
目 的	肱川の持つ魅力を最大限に活用し、豊かな自然と交流しながら健康づくりに取り組むことのできるスポーツイベントとして、リレーマラソンを開催する。				
事業実施状況	家族や仲間と結成したチームで力を合わせ、タスキをつなぎながら1周約1.4kmの周回コースを30周（約42.195km）走った。走者には、1周ごとに大洲ええモンセレクションが当たるルールを盛り込み、大洲市の特産物PRにも寄与した。 ■日 時 令和5年5月28日（日）9時～ ■場 所 肱川緑地公園 ■参加者 20チーム（178名）				
事業年度	R3	R4	R5		
事業費	予 算 額	2,300	1,194	650	
	決 算 額	2,206	694	473	
	繰 越 額		0	0	
	執 行 率	95.9%	58.1%	72.8%	
事業区分	市単独事業	その他	市単独事業		
財 源	国庫補助金		0	0	
	県補助金		94	0	
	地方債		0	0	
	その他特財		0	0	
	一般財源	2,206	600	473	
事業の成果	参加者全員が、「する」「みる」「ささえる」等の様々な形で本イベントに参加することができた。幅広い年代の方に参加いただき、市民の健康増進や健康寿命延伸につなげることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	5月の最終日曜日に開催する場合、異動や年度初めの繁忙期に備え、前年度の内から準備を進めていく必要がある。進捗管理を課内で十分に行い、より魅力あるイベントにしていきたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名	55 オンラインスポーツ事業				
目 的	市全体を運動の場として、いつでも取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸につなげていく。				
事業実施状況	1 大洲市民向けウォークイベント「新春！OZU健康ウォーク」 ■日 時 令和6年1月1日（月）～令和6年1月31日（水） ■参加者 78名 2 大洲市民向けウォークイベント「春うららOZU健康ウォーク」 ■日 時 令和6年3月1日（金）～令和6年3月15日（金） ■参加者 93名				
事業年度	R3	R4	R5		
事業費	予 算 額	2,300	1,194	1,440	
	決 算 額	2,206	694	1,440	
	繰 越 額		0	0	
	執 行 率	95.9%	58.1%	100.0%	
事業区分	市単独事業	その他	市単独事業		
財 源	国庫補助金		0	0	
	県補助金		94	0	
	地方債		0	0	
	その他特財		0	0	
	一般財源	2,206	600	1,440	
事業の成果	大洲市独自のオンラインウォークイベントを2回開催することができた。大洲市内のアプリ登録者と歩数を競い合い、上位入賞者に対しては大洲ええモンセレクションなどが当たる懸賞企画を盛り込み、魅力ある事業となるよう努めた。				
自己評価	所 属 長	△	担 当 者	△	
課題・問題点	参加者数が伸び悩んでいるため、アプリの普及と合わせて、本事業の魅力を市民に対して分かりやすく発信していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	青少年育成係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	56 学校・家庭・地域連携推進事業				
目 的	家庭や地域の教育力が低下していることから、未来を担う子供たちを健やかに育むため、学校や家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組むことを目的として実施する。				
事業実施状況	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ様々な教育支援活動を実施した。 1 地域学校協働活動 全13本部 「ふるさと学習を軸とし、系統性を重視した各校区の小中一貫教育の推進」の支援 (1)平野小・中学校地域学校協働本部 (2)河辺小学校地域学校協働本部 (3)脇川小・中学校地域学校協働本部 (4)新谷小・中学校地域学校協働本部 (5)粟津小・三善小・大洲東中学校地域学校協働本部 (6)菅田小・脇東中学校地域学校協働本部 (7)長浜小・中学校地域学校協働本部 (8)大洲北中学校地域学校協働本部 (R4.5～) (9)喜多小学校地域学校協働活動本部 (R4.9～) (10)大洲南中学校地域学校協働活動本部 (R4.12～) (11)大洲小学校地域学校協働活動本部 (R5.2～) (12)平小学校地域学校協働活動本部 (R5.3～) (13)久米小学校地域学校協働活動本部 (R5.3～) 2 放課後子ども教室 (1)喜多 放課後子ども教室 (喜多小学校区) 休止 (2)上須成 放課後子ども教室 (喜多小学校区上須成地区) 読み聞かせ、体験活動ほか (3)平野 放課後子ども教室 (平野小学校区) 俳句、バランスボール、音楽ほか (4)白滝 放課後子ども教室 (白滝小学校区) 宿題、各種体験活動、食育ほか (5)河辺 放課後子ども教室 (河辺小学校区) 読み聞かせ、俳句、科学教室ほか (6)大洲 放課後子ども教室 (大洲小学校区) 休止 3 家庭教育支援 (チーム活動) 大洲子育てサポート“そよ風”による家庭教育支援活動 (1)活動日数 190日 (月、火、木、金曜日) (2)相談対応 135件 (電話・来所・家庭訪問・事業所訪問) (3)啓発活動 ①情報紙「そよ風通信」配布 年11回 (毎回4,550枚) ②子育て広場、学習会 26回 4 えひめ未来塾 ひらの未来塾による地元の小・中学生への学習支援活動 (1)活動日数 10日間 (夏期休業中) (2)参加延人数 小学生198人、中学生51人、支援員等：13人、ボランティア：31人				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	7,365	11,330	18,879	19,168
	決 算 額	5,677	7,024	9,216	12,210
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率	77.1%	62.0%	48.8%	63.7%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	1,889	1,995	3,042	3,658
	県補助金	1,889	1,994	3,041	3,657
	地 方 債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一 般 財 源	1,899	3,035	3,133	4,895
事業の成果	令和4年度に、計画していた全13地域学校協働本部の設置が完了している。 放課後子ども教室は、5教室の実施予定であったが、喜多小学校区が休止となった。 家庭教育支援の「大洲子育てサポート“そよ風”」では、学習講座の回数が増加し、令和4年度から実施しているひらの未来塾を令和5年度も開設した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	地域コーディネーターが頑張りすぎず、継続して事業を実施してもらうために、研修会や意見交換会等の開催に取り組んでいく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		生涯学習課		係 名	青少年育成係		年度	R5
基 本 目 標		3 豊かな学びを支える教育環境づくり						
基 本 方 針		1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり						
主 要 施 策		1 青少年健全育成事業の推進						
事 業 名		57 放課後児童健全育成事業						
目 的		保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、支援員の援助のもと安全な遊びや生活の場を提供することを目的とする。						
事業実施状況		児童が放課後児童支援員の助けを借りながら、基本的な生活習慣や異年齢児童等とのかかわり等を通じた社会性の習得、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる「遊びの場」「生活の場」を提供し、子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図るよう保育に取り組んだ。 また、待機児童解消と保育環境の改善を図るため、1つのクラブの新設を行った。このことにより、保育環境の改善が図れ、利用定員を45人増加することができ、利用定員が544人となった。 【喜多児童クラブ3 43人増】 (実施クラブ) 大洲児童クラブ(クラブ1、クラブ2) 喜多児童クラブ(クラブ1、クラブ2、クラブ3 R5.7.21開設) 平児童クラブ 久米児童クラブ 平野児童クラブ 菅田児童クラブ 新谷児童クラブ 三善児童クラブ 粟津児童クラブ 肱川児童クラブ 河辺児童クラブ 入会児童がなく休所【夏期長期休業中のみ開所】						
事業年度		R2		R3		R4		R5
事業費	予算額	93,946		124,576		122,863		123,337
	決算額	75,805		99,493		107,527		113,755
	繰越額	1,980		0		0		0
	執行率	80.7%		79.9%		87.5%		92.2%
事業区分		補助事業		補助事業		補助事業		補助事業
財源	国庫補助金	26,449		27,914		28,433		26,380
	県補助金	18,306		25,917		25,534		26,387
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	18,305		19,885		22,135		24,070
	一般財源	12,745		25,777		31,425		36,918
事業の成果		施設の改修により喜多児童クラブ3を開設したことで、定員増と保育環境の改善が図れた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		近年、児童数は減少しているが利用希望者は増加していることから、利用定員の増と保育環境の整備を継続して実施していく必要がある。 放課後児童支援員の確保が最も重要な課題である。また、資質向上のための研修内容の充実と研修機会を確保する必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	青少年センター	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	58 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援				
目 的	子供の生活習慣の乱れやいじめ、犯罪の未然防止を目的として「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及に努める。				
事業実施状況	「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」を遵守してもらうため、家庭内のよく見える場所にルールを掲示することを啓発するとともに、市の施設への懸垂幕掲示や市PTA連合会委員会活動を利用した啓発活動を実施した。 1 各小中学校への市内統一ルールの啓発 各種会議等での、市内統一ルールの啓発 保護者への啓発資料としてリーフレットを作成し配布 2 懸垂幕設置 (1)期間 令和6年2月1日～3月31日 (2)場所 市役所本庁舎、公民館、小中学校 3 大洲市PTA連合教育懇談会 開催日 令和6年1月13日(土) 場 所 市役所2階 大ホール 4 スマートフォン等利用に関するアンケート調査 (1)時 期 令和6年2月実施 (2)対 象 小学5年生、中学2年生の保護者				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額				
	繰 越 額				
	執 行 率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	大洲市PTA連合会が行う、「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及を図るため、家庭への啓発資料としてリーフレットを作成し配布した。 また、教育懇談会において、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」の結果を配布し、保護者等が現状を把握できるよう努めた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スマートフォンやタブレット機器、ゲーム機の普及や、近年のコロナ禍により、子供たちが通信機器等に触れる時間が増えたため、各家庭でのルール作りが今まで以上に重要になってくることから、より一層の啓発活動が必要である。 また、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」から市内統一ルールの普及は成果であるが、それが守れているかについては課題がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	青少年センター	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	59 「家族の出番です」通信講座事業				
目 的	生涯学習機会の拡充及び家庭教育の深化を図る。				
事業実施状況	主に小中学校の保護者を対象に通信講座「家族の出番です」の通信紙を配布するとともに、関連事業として実施している講演会に案内し、スクーリングとした。 1 運営委員会（運営委員13人） (1)定例会 令和5年5月15日（月） 令和6年3月11日（月）→中止【書面決議】 2 通信講座 (1)発行回数 通信紙年3回発行 (2)配布先 小中学校の保護者、教職員、行政、関係諸団体等 (3)配布部数 3,000部 3 講演会（スクーリング） (1)大洲市PTA研究大会 ①開催日 令和5年10月14日（土） ②場 所 大洲市立長浜小学校 ③参加者 約150人 ④主管校の実践事例等の発表及び講演会 (2)大洲市青少年健全育成推進大会 《愛媛県青少年健全育成推進大会と共催》 ①開催日 令和6年1月13日（土） ②場 所 市役所2階 大ホール ③参加者 130人				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	571	471	453	347
	決 算 額	272	253	285	303
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	47.6%	53.7%	62.9%	87.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	272	253	285	303
事業の成果	予定通りに事業を実施することができた。通信紙を発行し、子育ての貴重な時期における親子の触れ合いの一助とすることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	親子の触れ合いや家庭教育の充実を図るために、今後も通信紙の発行を継続していきたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	60 青少年センター運営事業				
目 的	各地区（公民館・分館）での青少年健全育成の自主的な活動や運動を推進するために補助金を交付し、活動を支援する。				
事業実施状況	青少年健全育成推進事業に係る補助金を公民館活動補助金に含めて交付し、地域総ぐるみで青少年の健全育成に資する事業を展開した。 1 各地区での主な事業 (1) 街頭指導 (2) 防犯灯・危険場所点検 (3) 三世代交流事業 (4) 親子料理教室 (5) 親子ふれあい研修 (6) クリスマス会 (7) マラソン大会等 (8) 懸垂幕等による啓発活動				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	1,064	1,064	0	0
	決 算 額	1,064	1,064	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%		
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,064	1,064	0	0
事業の成果	令和4年度から公民館活動補助金に含めて補助金を交付している。令和5年度においても、各地区で実施した防犯活動や三世代交流事業などを通して、青少年の健全育成や非行防止についての共通認識を深めるとともに、学校・家庭・地域の連携強化を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	コミュニティセンター移行後も公民館で実施していた青少年健全育成事業が衰退することのないよう、学校・家庭・地域の連携をさらに強めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	青少年育成係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	2 子供読書活動の推進				
事 業 名	61 第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施				
目 的	あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するとともに、自主的に読書活動を行うことができるよう、子供や家庭、学校等、地域社会に対する働きかけや環境づくりの施策を推進する。				
事業実施状況	令和5年度からの5年間の推進施策と取組方針をまとめた「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の計画に基づき、関係組織（市立図書館・公民館・学校等（保育所・幼稚園含む））による取組を行った。 1 「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の策定 (1) 策定年月 令和5年5月 (2) 計画期間 令和5年5月～令和10年3月 2 不読率アンケート調査(毎年)の実施 (1) 実施時期 令和5年6月 (2) 実施内容 設問：1か月に何冊くらい本を読みますか。 対象：小学生(全学年)、中学生(全学年) 保育所・こども園(5歳児)、幼稚園(5歳児) (3) 結 果 不読率：小学生1.2%、中学生9.5%、就学前7.3% 3 大洲市子供読書活動推進委員会の開催 第1回：令和6年3月13日(水) ※「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の策定				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	53	53	52	52
	決算額	0	0	21	21
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	40.4%	40.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	21	21
事業の成果	不読率等アンケート調査」を毎年6月に実施することにより、子供たちの読書の状況を把握し、改善方法をさぐる材料を得ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	アンケート調査の結果及び「第3次大洲市子供読書活動推進計画」に基づき、不読率を改善していく取組を推進する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	62 スクールソーシャルワーカー活用事業				
目 的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う。				
事業実施状況	スクールソーシャルワーカーの専門的な知識や技術を用いて、児童生徒が置かれている様々な環境に対する効果的な働きかけを行ったり、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に対し支援を行っている。 令和3年度より配置方法を拠点校型から巡回型に変更し、1人のスクールソーシャルワーカーが市内全小中学校を訪問している。 ○主な職歴 心理療法士 ・勤務日数 90日／年、360時間（4h／日、1,100円／h）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	1,188	482	444	479
	決算額	444	412	416	441
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	37.4%	85.5%	93.7%	92.1%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	220	220	220	220
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	224	192	196	221
事業の成果	保護者との面談の機会を多く持ち、学校（教員）と児童の関係性を保ちつつ、保護者自身が抱えている問題にも耳を傾けることで、保護者と学校（教員）との意見や考え方の違いやズレについて軌道修正を行うことができ、互いに協力しながら問題の解決に当たることができている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和3年度より拠点校型から全小中学校を訪問する巡回型へと変更を行い、現時点では問題ないが、1人の配置であることからきめ細かな対応が必要な事案が多く発生した場合、対応困難になることが想定される。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	63 ハートなんでも相談員設置事業				
目 的	生徒指導の充実と安全・安心な学校づくりを推進する。 小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決を図る。				
事業実施状況	小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に努めている。 菅田小に1人、平小に1人、肱川中と肱川小に兼任で1人の合計3人を配置している。 ○菅田小相談員 元小学校教諭 ○平 小相談員 元小学校教諭 ○肱川中、肱川小相談員 内子高校スクールライフアドバイザー ・勤務日数 70日／年、280時間（4h／日、1,000円／h）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	986	970	967	972
	決算額	963	965	966	972
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.7%	99.5%	99.9%	100.0%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	279	279	279	279
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	684	686	687	693
事業の成果	学校行事に積極的に参加して配慮を要する児童生徒に関わることで、人間関係や児童生徒理解を深めることができ、少しずつ問題の改善に向かっていく。 相談を受けている児童生徒や保護者について、養護教諭と円滑に情報交換をしていくことで、相談活動の成果を上げることができている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		教育総務課		係 名	学校教育係		年度	R5
基 本 目 標		3 豊かな学びを支える教育環境づくり						
基 本 方 針		2 子供と向き合う教育環境づくり						
主 要 施 策		1 相談体制の充実						
事 業 名		64 スクールカウンセラー活用事業						
目 的		小中学校に、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者を配置し、教育相談体制の充実を図る。						
事業実施状況		児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラー等を、中学校区程度の地域を一単位として、その域内にある中学校を拠点校とし、域内の小学校や近隣の小学校を対象校として配置することにより、教育相談体制の充実を図っている。 配置するスクールカウンセラー等 ○スクールカウンセラー（6名） SC① 大洲北中学校（喜多小学校・平小学校） SC② 大洲南中学校（大洲小学校・久米小学校） SC③ 新谷中学校（新谷小学校） 肱川中学校（肱川小学校） SC④ 肱東中学校（菅田小学校） SC⑤ 大洲東中学校（三善小学校・栗津小学校） SC⑥ 長浜中学校（長浜小学校） ○準スクールカウンセラー（1人） 準① 平野中学校（平野小学校） ・勤務日数 39日／年						
事業年度		R2		R3		R4		R5
事業費	予 算 額	0		0		0		0
	決 算 額	0		0		0		0
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率							
事業区分		その他		その他		その他		その他
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	0		0		0		0
	一般財源	0		0		0		0
事業の成果		教職員へのコンサルテーションの充実により、児童生徒に対する心理的理解がより深まり、指導・支援の幅が広がった。 専門的な立場から、問題行動の解決に向けて具体的なアプローチを行うことでスムーズな対応でき、問題や悩みを持つ児童生徒や保護者に対して、学校全体で情報を共有し支援を行うことができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		接続校である小学校への相談業務も徐々に浸透しているが、接続校への勤務が一度もない地域もあり、より一層小中学校で連携が図れるよう周知・啓発を行っていく必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	65 教職員メンタルヘルス・個別相談事業				
目 的	児童生徒の多様化・複雑化する課題への対応、また教職員の担当業務増大による心身の疲労から、メンタル面で不調を来たす者が出ている現状を踏まえ、心理療法士を各学校へ派遣して個別相談事業、メンタルヘルスに関する研修会を実施する。				
事業実施状況	1 対象 小・中学校教職員 2 配置 心理療法士 1人 3 事業実施形態 各学校へ派遣し、メンタルヘルス上、配慮の必要な教員と面談を行ったり、職員会議等で講義を行ったりした。 4 訪問実績 4月：5回（15校） 5月：5回（14校） 6月：5回（15校） 7月：4回（10校） 8月：5回（12校） 9月：4回（11校） 10月：4回（10校） 11月：6回（15校） 12月：4回（10校） 1月：5回（13校） 2月：5回（13校） 3月：5回（13校） 57回				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	720	720	720	720
	決算額	719	684	648	684
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	99.9%	95.0%	90.0%	95.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	719	684	648	684
事業の成果	月初に訪問予定校を計画しているが、急な相談依頼があった場合は、計画とは別に訪問日を設け、本人へのカウンセリングや、校長や養護教諭等に対応の仕方についてアドバイスを行うなど、臨機応変に対応することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	2 不登校への対応				
事 業 名	66 おおずふれあいスクール運営事業				
目 的	不登校対応施設として、大洲青少年交流の家に「おおずふれあいスクール」を設置し、心の居場所の提供に努めるとともに、学校復帰や社会的自立への支援を行う。				
事業実施状況	通所生が伸び伸びとさまざまな活動をする中で、自己を表現したり、自己の存在感を実感させたりし、居場所が実感できるようにしている。 不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対しては、学校や関係機関等との連携を図りながら、基礎学力の補充、学校復帰への支援に努めている。 ひきこもりがちな青年に対しては、社会的自立を促し、就労に向けた支援に努めている。 (活動内容) ○自主活動 ・基礎学力の補充 ・進学・就労への支援 ○集団活動 ・自然体験活動 (農園体験、園芸体験、ウォークラリーなど) ・社会体験活動 (宿泊体験活動、社会見学) コロナ感染症対策により中止 ・文化・スポーツ体験活動 (読み聞かせ、手芸・工作、調理実習、スポーツ、陶芸、ALTとの交流など)				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	6,426	6,127	6,523	6,893
	決 算 額	5,743	5,777	5,719	6,529
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	89.4%	94.3%	87.7%	94.7%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,200	1,200	1,200	1,200
	一般財源	4,543	4,927	5,323	5,693
事業の成果	令和5年度は6人(小学生2人、中学生4人)が登録し、通所した。6人のうち、年度末には3人が学校に復帰した。また、中学3年生3人が高校に進学した。 1年間で相談が23件、見学・体験が46件あった。 平成30年度から保護者の相談事業を毎月開催しており、きめ細かな保護者支援を行うことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和5年度をもって西予市が協定から外れ、令和6年度以降の更新はしないことを表明した。不登校については各自治体においても取組を進めていることから、3年後の協定については他の市町の動向も懸念される。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	3 安全・安心な学校づくりの充実				
事 業 名	67 防災・安全教育推進事業				
目 的	大洲市防災教育推進連絡協議会を開催し、近隣学校や地域を巻き込んだ活動を進めるとともに、各学校・各園の実情に応じた防災教育・防災管理の充実を図る。				
事業実施状況	大洲市防災センターにて、幼稚園・小中学校等の防災管理担当者及び市・地域の防災関係機関等の担当者が一堂に会し、協議を行ったり、学校防災アドバイザーの専門的観点からの指導助言を受けたりすることによって、それぞれの連携を促進するとともに、大洲市学校防災マニュアルや各学校及び園の防災マニュアルの改善を図った。 アドバイザーとして参加していただいた各関係機関から、講話をいただいた。国土交通省からは、現行学習指導要領に沿った「肱川流域の防災教育」についての授業展開例を紹介していただいた。また、松山海上保安部による学校向け出前講座の紹介や、大洲市危機管理課の石川県地震復興支援の報告等、防災の実情に即した講義も行っていた。 要配慮施設における避難確保計画の作成、計画に基づいた避難訓練の実施などに取り組むことができた。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	専門家からの指導助言やグループ協議により、防災・減災に対する意識を高めることができた。また、洪水対策のための避難訓練の在り方等について協議することができた。 市の実態に合った、防災学習について考えることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	68 学校運営協議会制度の推進				
目 的	地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。				
事業実施状況	1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈設置状況〉 令和2年度…平野小、平野中 令和3年度…肱川小、肱川中、新谷小、新谷中 令和4年度…菅田小、肱東中、粟津小、三善小、大洲東中、長浜小、長浜中 令和5年度…大洲小、久米小、大洲南中、喜多小、平小、大洲北中 ◆（市内8地区）すべての学校で、学校運営協議会を設置完了 2 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈準備 …開設一年前の学校で実施〉 9月…準備委員の選定 10月…第1回学校運営協議会設置事業準備委員会 11月…啓発リーフレットの配布、アンケートの実施・集計 12月…地域説明会 1月…第2回学校運営協議会設置事業準備委員会（熟議） 3月…第3回学校運営協議会設置事業準備委員会 3月…学校運営協議会設置申請 ◆大洲南中と大洲北中地区で準備完了（令和6年度開始）				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	260	815	1,735	2,260
	決算額	221	795	1,710	2,080
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	85.0%	97.5%	98.6%	92.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	221	795	1,710	2,080
事業の成果	年次計画に沿った準備等を進め、令和5年度では、計画していた全ての校区に学校運営協議会を設置した状態で始まり、年3回の学校運営協議会を開催することができた。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	年度当初から確実に組織を立ち上げ、各運営協議会において、学校や地域の特性に合った運営を行えた。地域との連携を更に深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進してほしい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	69 学校における働き方改革の推進				
目 的	「大洲市立学校における働き方改革検討委員会」を開催し、教職員の働き方を見直し、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう必要事項を検討する。				
事 業 実 施 状 況	1 小中学校における業務改善の推進と教職員の時間外勤務時間の縮減 - 令和5年度業務改善計画策定 - 働き方改革検討委員会の開催（3回実施） - スクール・サポート・スタッフの増員計画 2 大洲市立中学校に係る部活動方針の徹底 - 方針に基づいた各中学校における推進 3 ストレスチェック実施要領に基づく、大洲市立小中学校の教職員のストレスチェックの実施 - 年2回（6月、12月）実施 - 高ストレス者に対する各学校における面談の実施 4 部活動地域移行検討班会において、今後の部活動のあり方を協議				
事 業 年 度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	345	342	342	281
	決 算 額	37	43	38	37
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	10.7%	12.6%	11.1%	13.2%
事 業 区 分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	37	43	38	37
事 業 の 成 果	全教職員の時間外勤務時間は、以前と比較すると若干減少しているが、まだまだ十分とは言えない。「部活動地域移行検討班会」が立ち上がり、部活動地域移行について協議した。 定期的なストレスチェックにより、大洲市だけでなく各学校の実態が把握できた。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	働き方改革に向けての意識が、教職員及び保護者に浸透してきたものの、超過勤務時間の削減につながらなかった。面談の定期的かつ適切な実施など、一層の対策が必要と考える。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	5 被災及び新型コロナウイルス感染に関する児童生徒への支援				
事 業 名	70 心のケア事業				
目 的	災害で心に強い衝撃を感じる体験をしたことにより、今後も身体的・精神的な不調を訴える子供に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を実施し、心のケアを行う。				
事業実施状況	○ 特別巡回相談の実施（2回） ・災害体験により、身体的精神的に不調を訴え、不登校傾向になった子供とその親に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を行った。 ○ 保護者・職員を対象とした講演会の実施（3回） ・災害からコロナ禍に生まれ、育っている地域の保育所、こども園、中学校において、保護者や職員、地域の支援者等を対象に、子供の気持ちに寄り添う支援の在り方等についての講演会を行った。				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	258	155	104	104
	決算額	0	35	35	89
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	22.6%	33.7%	85.6%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	35	22	59
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	13	30
事業の成果	災害により、不調を訴える子供とその保護者に対しての相談を行い、心のケアをすることができた。 保護者や教職員等の支援者が研修を受けることで、日々のケアがより細やかにできるようになった。令和6年度4月1日の大洲市こども家庭センターの設立により、業務を移行することになった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	直接的に災害による心のケアが必要な子供は減っているようだが、行動面での落ち着きのなさや人間関係の困難さの原因の一つに、災害の影響があるのではないかとと思われるケースが増えてきている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	6 教職員等の資質の向上				
事 業 名	71 大洲市教育研究所運営事業				
目 的	大洲市の学校教育に関する専門的、技術的な研究調査および教育関係職員の研修を実施する。				
事業実施状況	複雑化・多様化する課題に対して関係機関と連携した取組や研究を進め、研修の充実により教職員の専門的知識や資質の向上に努めた。 ■教育研究所所員、専門委員会等による応募研究および発表 ■小中学校各教科班会、主任会、専門委員会単位での研究、研修会 ■不登校等の事例検討会（学期に1回開催） ■不登校対応マニュアル改訂				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	7,154	5,111	3,937	3,899
	決算額	4,922	3,754	3,198	3,390
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	68.8%	73.4%	81.2%	86.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,922	3,754	3,198	3,390
事業の成果	各班会・主任会を中心とした指導方法の工夫・改善を図る授業研究や、夏季休業等を活用した各種研修会や講習会などを通して、教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで成果を上げた。また、成果の一端を「研究紀要」としてまとめることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	7 生徒指導の充実				
事 業 名	72 いじめ・不登校等対策協議会推進事業				
目 的	「大洲市いじめ・不登校等対策協議会」において各機関の意見の集約を行うとともに、協議会からの提言を踏まえて、問題解消に努める。				
事業実施状況	大洲市いじめ・不登校等対策協議会を3回開催した。大洲市のいじめ・不登校の実態（いじめの状況・件数・きっかけ・内容、不登校の状況・要因など）について、大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員からアドバイスを受けた。令和5年度は、いじめ認知件数や不登校児童生徒数がさらに増加した。各事例の態様や対応策について協議した。また、提言を各小中学校に周知し、適切に対応するよう働きかけた。 ・校区別「いじめ不登校に関する研修会」を開催し、各地域の実情に即した取組の推進 ・教職員の指導力の向上を図るための講演会の開催 ・各中学校において、生徒対象の「いじめ・不登校に関する研修会」の開催 ・ふれあいスクールと連携した不登校児童生徒、保護者への対応 ・県教育支援センターが運用する「メタサポキャンパス」や、各校が行うオンライン授業の参加等の啓発				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	276	276	261	261
	決算額	175	182	182	173
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	63.4%	65.9%	69.7%	66.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	175	182	182	173
事業の成果	大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員長をはじめ、協議会委員からの確かなアドバイスを受けることによって、各機関との連携が図れるなど、大洲市の「いじめや不登校」対策がよりよい方向に向かうことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特になし				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	1 学校施設・設備の充実				
事 業 名	73 学校施設長寿命化改修事業				
目 的	施設の老朽化対策、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行うことで、既設施設を80年以上使用できるようにするもの。				
事業実施状況	【事業概要】 大洲市学校長寿命化計画（R3.1策定）に基づき、順次市内小中学校の長寿命化改修工事を計画に実施する。 令和4年度～令和7年度までは大洲南中学校の長定命化改修工事を下記のスケジュールで予定している。 【大洲南中学校長寿命化改修事業スケジュール】 令和4年度 事前調査 令和5年度 実施設計 令和6～7年度 長寿命化改修工事 【令和5年度 大洲南中学校長寿命化工事設計業務】 ＜業務内容＞ ○改修工事実施設計 一式 （建築・電気設備・機械設備・外構改修）				
事業年度	R4	R5			
事業費	予 算 額	4,109	33,018		
	決 算 額	4,106	32,463		
	繰 越 額	0	0		
	執 行 率	99.9%	98.3%		
事業区分	市単独事業	補助事業			
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	30,700		
	その他特財	0	0		
	一般財源	4,106	1,763	0	0
事業の成果	老朽化した大洲南中学校の校舎（3棟）において、外壁や屋上防水の改修等の構造体の劣化対策・ライフラインの更新等により建物の耐久性を高めたり、トイレの乾式化や防火シャッターの改修など建物の機能や性能を引き上げたりする実施設計を行った。令和6年度からは工事の着手を図る。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	工事開始後は校舎やグラウンドが使用できなくなるなど、学校現場に大きな負担をかけることから、学校側と十分に協議を行いながら、事業を実施する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	1 学校施設・設備の充実				
事 業 名	74 閉校施設除却事業				
目 的	将来において利活用計画のない閉校施設について、老朽化した施設を撤去することにより地域住民の安全及び施設の維持管理費の節減を図る。				
事業実施状況	【事業概要】 耐震性がなく、地域、民間等の活用予定がない閉校施設について、地元協議を行った上で順次解体している。（平成29～30年度：4校7棟、令和2～3年度：5校7棟の解体工事を実施した。）残る施設（延べ22校24棟）は合併特例債の発行期限となる令和6年度までに解体工事を完了させるため、令和2年度に閉校施設除却計画を策定し、令和5、6年度の解体工事に向けて、地元協議・調整を行う。なお、令和5年度は設計業務及び解体工事を実施する。 【令和5年度解体工事設計業務】 3校1園 7棟 ○旧櫛生小学校校舎 ○旧予子林小学校校舎（2棟）・園舎・教員住宅 ○旧河辺中学校校舎（2棟） 【令和5年度解体工事】 5校1園 7棟 ○旧大谷幼稚園園舎・旧大谷小学校教員住宅 ○旧正山小学校プール・教員住宅 ○旧柳沢小学校プール ○旧白滝小学校プール ○旧予子林小学校プール				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	117,904	15,806	9,800	122,429
	決算額	100,438	15,332	8,800	114,135
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	85.2%	97.0%	89.8%	93.2%
事業区分	その他	その他	その他	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	85,600	12,400	8,300	80,500
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	14,838	2,932	500	33,635
事業の成果	地域住民の安全性確保及び維持管理に係る経費を節減するため、残る施設の解体に向けて地元協議を行い、設計業務及び解体工事を実施することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	除却計画に基づいた解体工事を実施する。また、耐震性のある建物等は、公的施設及び地元での活用や民間業者等の参入を目指すなど、利活用の検討を行う。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	1 学校施設・設備の充実				
事 業 名	75 児童生徒用木製机椅子整備事業				
目 的	本市小中学校の児童生徒の机椅子については、全体の約7割が購入より20年を経過し、経年劣化による不具合や破損がみられるほか、机のサイズが旧JIS規格で小さく、学習端末を使用した授業に不向きであることから、地元木材を活用した机椅子の製作を行うことにより、学習環境の改善やSDG s の貢献を図る。				
事業実施状況	【事業概要】 1 主な仕様 材 質：大洲市産 ヒノキ 天板寸法：W650×D450（新JIS規格） 機 能：JIS規格2号から6号まで高さ調節可（机・椅子共） 2 製作予定数 1,550セット （製作予定期間 令和5年度 ～ 令和8年度） 3 木製机椅子を使用する予定の児童生徒 小学校5～6年生及び中学校1～3年生（大洲市内全域） <年度別 製造予定数> 令和5年度 300セット 令和6年度 400セット 令和7年度 400セット 令和8年度 450セット				
事業年度	R5				
事業費	予算額	24,000			
	決算額	23,991			
	繰越額	0			
	執行率	100.0%			
事業区分	その他	その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	21,000			
	一般財源	2,991	0	0	0
事業の成果	計画に基づき300セットの製造を地元業者に委託し、市内中学校6校の3年生教室に地元産の木製机椅子を納入することにより、学習環境の改善やSDG s の貢献を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	木製机椅子の導入に伴い課題となる既存の老朽化した机椅子の利活用・処分について計画的に取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	2 社会教育施設・設備の充実				
事 業 名	76 公民館改築事業				
目 的	教育施設の耐震対策をはじめとする計画的な整備を推進し、市民が安全で安心して学べる教育環境を確保する。				
事業実施状況	■<u>肱川公民館</u> 計 148,000円 令和5年6月に完成した「肱川地区複合公共施設」へ移転する。 ・肱川公民館移設業務 148,000円 ■<u>肱南公民館</u> 計91,669,600円 老朽化が進んでいる肱南公民館を、地域住民の交流やコミュニティ活動の拠点施設となるよう、カヌー艇庫との複合施設とし、「地域交流センター」として整備する。 (1) 設計業務等 ・新築工事設計業務 3,584,700円 ・地質調査業務 10,610,000円 (2) 用地取得等 ・不動産鑑定 344,300円 ・用地所管替え 76,270,000円 (3) 引っ越し作業、建設検討会等経費ほか 860,600円 ■<u>大川公民館</u> 計495,000円 被災し改修を要する施設の地元協議に向けた資料作成業務 495,000円 ■<u>その他基本計画の策定</u> 計 2,387,000円 ・上須戒公民館 495,000円 ・出海公民館 473,000円 ・豊茂公民館 473,000円 ・柳沢公民館 473,000円 ・白滝公民館 473,000円				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	303,114	117,901	7,674	96,571
	決算額	302,768	115,917	7,524	94,700
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	99.9%	98.3%	98.0%	98.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	39,722
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	284,200	84,300	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	18,568	31,617	7,524	54,978
事業の成果	令和5年6月に肱川地区複合施設が完成したことから、肱川公民館の移設作業を行った。 肱南公民館については、肱南地域交流センターとしての整備を進めるため、施設用地の所管替えを行うとともに、必要となる設計業務等を行った。 平成30年西日本豪雨により被災した大川公民館の地元協議に向けた資料作成業務及び老朽化により今後移転の検討を要する施設については、改修規模や配置計画等の基本計画を策定した。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	令和6年度より公民館がコミュニティセンターとなり、施設管理が教育委員会から市長部局へ変更となるが、引き続き「大洲市公共施設等総合管理計画」及び公民館施設等の「個別施設計画」に基づき、計画的な施設整備を推進していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	生涯学習課	係 名	生涯学習係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	2 社会教育施設・設備の充実				
事 業 名	77 社会教育施設維持修繕等事業				
目 的	市民が安全で安心して学ぶことができるよう施設の維持修繕を行い、延命化を図るとともに、設備の充実を図る。				
事業実施状況	公民館及び図書館において、老朽化している各施設の修繕等を実施するなど適正な施設管理を行うとともに、公民館のコミュニティセンター化に向けた準備を進めた。 《公民館及び分館》 1 工事に伴う設計業務等 3件 5,676,000円 2 工事 全34件 21,445,971円（※1件100万円以上の工事を記載） ・肱北公民館五郎分館 改修工事(R6へ繰越 契約額3,982,000円) 0円 ・肱北公民館田口分館 増築工事(R5・6債務負担 契約額17,490,000円) 6,996,000円 ・八多喜公民館 2階大ホール照明設備更新工事 1,045,000円 ・沖浦公民館 1階和室空調設備改修工事 1,210,000円 ・白滝公民館 事務室改修工事 1,298,000円 ・河辺公民館 給水装置改修工事 2,838,000円 ・河辺基幹集落センター 誘導灯・自動火災報知器設備修繕工事 1,147,300円 3 修繕 全68件 6,377,178円 ・硝子・網戸(15件)、建具・器具等(10件)、トイレ(7件)ほか 4 備品購入 全22館 11,718,705円 ・机:68台(9館)、椅子:139脚(8館)、戸棚:22台(6館)、箱:2個(2館)、室内用品:21個(5館)、電気器具:29個(23館)、厨房用具:3台(2館)、楽器:1個(1館) 《図書館及び図書館分館》 1 工事 全4件 工事計 17,339,200円（※1件100万円以上の工事を記載） ・高天井照明器具取替工事 9,108,000円 ・駐車場舗装工事 7,734,000円 2 修繕 全12件 修繕費計 637,961円 ・電動シャッターリモコン受信機修繕ほか 3 備品購入 1,910,700円 ・机:6台、椅子:14脚、戸棚:2台、室内用品:5個、電気器具:1個、工具:1個、車両:1台、雑器具:1個				
事業年度		R3	R4	R5	
事業費	予 算 額	12,090	11,477	30,429	82,631
	決 算 額	11,960	11,314	26,527	65,106
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.9%	98.6%	87.2%	78.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	11,960	11,314	26,527	65,106
事業の成果	令和6年度からのコミュニティセンター化に向け、必要となるネットワークの構築作業及び事務室の改修等を進めるとともに、施設の支障箇所の工事、修繕等を積極的に行ったことで、市民サービス及び利便性の向上が図られた。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	令和6年度より公民館がコミュニティセンターとなり、施設管理が教育委員会から市長部局へ変更となるが、多くの施設が経年劣化による改修・修繕が必要になっている。利用者の安全と利便性に配慮し、緊急性の高いものから順次対処していくことが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	78 社会体育施設の充実と活用				
目 的	社会体育施設の設備の充実と利用者へのサービス向上に努め、利用促進を図るとともに、体育施設の改修を行う。				
事業実施状況	体育施設の整備を行い、良質なスポーツ環境の提供と利用者へのサービス向上を図った。 - 総合体育館改修事業 ■予約管理システム ・D Xの推進やサービスの向上を図るため、施設予約システムの導入に向けた実証事業を行った。 - 肱川農業者トレーニングセンター内樋防水改修事業 ・工事請負費 6,820千円 - 晴海ふれあいパーク施設改修工事 ・工事請負費 29,081千円 - 徳森公園管理センター事務室改修工事 ・工事請負費 3,454千円 - その他社会体育施設整備 ■長浜スポーツセンター照明ランプ取替工事 ・工事請負費 1,298千円 ■上記他 ・修繕料 53件 5,750千円 ・工事請負費 0件 0千円 ・備品購入費 4件 1,109千円				
事業年度	R2	R3	R4	R5	
事業費	予算額	71,763	45,133	50,960	50,281
	決算額	65,657	27,576	39,808	47,512
	繰越額	0		0	0
	執行率	91.5%	61.1%	78.1%	94.5%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財源	国庫補助金	0		0	0
	県補助金	0		0	0
	地方債	55,400		19,200	0
	その他特財	0		0	0
	一般財源	10,257	27,576	20,608	47,512
事業の成果	市内各地の社会体育施設の改修や備品の購入などにより、利用者の安全性と利便性が向上した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	施設の老朽化や利用者のニーズの変化などを踏まえながら、優先度などを総合的に判断し、計画的な改修による施設の長寿命化を図る必要がある。 また、施設照明のLED化を計画的に進める必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	79 カヌー艇庫整備事業				
目 的	肱川のカヌーの普及と推進を図る拠点施設として、利用者の利便性や、安全性及び競技力向上等の機能を併せもつカヌー艇庫の移転改築に向けて事業を推進する。				
事業実施状況	関係各所や愛媛県との協議を重ね、「肱川かわまちづくり計画」等と連携してカヌー艇庫基本構想策定等にかかる調査研究をすすめた。				
事業年度	R3	R4	R5		
事業費	予 算 額	0	484	0	
	決 算 額	0	484	0	
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率		100.0%	0.0%	
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業		
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	0	484	0	
事業の成果	大洲市肱南地域交流センター建設にかかる設計について、関係各所との打合せを重ね、センターの複合施設として整備するカヌー艇庫やオープンテラス等の在り方について検討した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	カヌーの普及促進、観光客利用を主眼とし事業を進める必要があり、策定した「肱川カヌー艇庫整備基本構想」をもとに計画的に実行していく。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	4 社会体育施設管理の充実				
事 業 名	80 大洲市総合体育館等の指定管理体制の構築				
目 的	同体育館の管理体制について、創意工夫のある企画や効率的なイベントを実施し、施設利用者の多様な需要に応えながら質の高いサービスの提供を図る。 また、スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を目指す。				
事業実施状況	大洲市総合体育館等の管理体制について、創意工夫のある企画や効率的な運営などにより、施設利用者の多様な需要に応え、質の高いサービスの提供を図り、効率的、効果的な管理運営をするため、指定管理者制度の実現に向けての検討を行った。				
事業年度	R3	R4	R5		
事業費	予 算 額	0	0	0	
	決 算 額	0	0	0	
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率			0.0%	
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業		
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
事業の成果	指定管理者制度導入に向けて検討していたが、施設の改修や人口減少に伴う利用者ニーズの変化等を鑑み、総合的に判断して次年度以降の継続的課題とする。				
自己評価	所 属 長	△	担 当 者	△	
課題・問題点	平野運動公園等を含め大洲市全体で統一したDX制度の設計も含めた効果的な管理運営を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化スポーツ課	係 名	スポーツ推進係	年度	R5
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	4 社会体育施設管理の充実				
事 業 名	81 体育施設LED照明設備導入事業				
目 的	令和3年から水銀灯の製造、輸出入が禁止され、市内体育施設において水銀灯からLED照明に改修する必要性が生じている。各施設の利用状況、改修の必要性を調査し、体育施設LED化改修を推進する。				
事業実施状況	各施設の利用状況を調査し、整理をすすめた。また、その利用状況等を踏まえ、LED化改修の必要性についての検討を行い、令和6年度の予算で対応することとなった。				
事業年度	R5				
事業費	予 算 額	0			
	決 算 額	0			
	繰 越 額	0			
	執 行 率	0.0%			
事業区分	市単独事業				
財 源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地 方 債	0			
	その他特財	0			
	一 般 財 源	0			
事業の成果	令和7年度に行われる日本スポーツマスターズ2025愛媛大会において、大洲市総合体育館でバスケットボール競技が実施されることが決定した。それに伴い、同施設のLED化改修を計画した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	愛媛県内外から参加者が集う大きな大会を、より充実した大会にするために、計画的な改修をすすめていく必要がある。				